この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

【お客さま本位の業務運営】

山口フィナンシャルグループにおける取組状況 -2024年度-

2025.07.11

株式会社山口フィナンシャルグループ
株式会社山口銀行
株式会社もみじ銀行
株式会社北九州銀行
ワイエム証券株式会社
株式会社YMFGグロースパートナーズ
株式会社保険ひろば
ワイエムアセットマネジメント株式会社

YMFGにおける顧客本位の業務運営にかかる全体像_2024年度

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

- 山口フィナンシャルグループは、金融庁が2017年3月に公表しました「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択し、グループ共通の指針となる「YMFGお客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する取組方針」を定めています。
- グループ各社では、YMFGの「パーパス」、「ビジョン」の実現に向け、取組方針に基づく具体的なアクションプランと取組状況を年度ごとに策定・公表しています。
- また、フィデューシャリー・デューティーに関する各種定量指標（KPI）を定期的に検証してまいります。

パーパス　**「地域の豊かな未来を共創する」**

ビジョン　**「地域に選ばれ、地域の信頼に応える、地域価値向上企業グループ」**

取組方針（共通）

1. **お客さま本位の徹底**
2. **お客さま本位の情報提供**
3. **お客さま本位のラインアップ**
4. **お客さま本位の管理態勢**
5. **企業文化の定着**

アクションプラン（事業体別）

銀行	①ポートフォリオ提案の浸透 ②商品ラインアップの整備 ③資産管理伴走体制の構築 ④アフターフォロー体制および管理態勢の整備 ⑤グループ連携力の強化 ⑥人財育成・評価体系の整備 ⑦金融リテラシー向上にかかる活動の実践	YMFG グロース パートナーズ	①助言サービスの提供 ②サービスラインアップの整備 ③お客さまの資産メンテナンスの実施 ④管理態勢の整備 ⑤社員教育の徹底
ワイエム証券	①ポートフォリオ提案の徹底 ②商品ラインアップの充実 ③重点管理顧客への定期的な訪問活動の充実 ④お客さまの属性に見合ったアフターフォローの実施および管理態勢の整備 ⑤グループ連携力の活用 ⑥人財育成・評価体系の整備	ワイエム アセット マネジメント	①お客さま本位の徹底 ②お客さま本位の情報提供 ③お客さま本位のラインアップ ④お客さま本位の管理態勢 ⑤お客さま本位の徹底・企業文化の定着
保険ひろば	①コンサルティング提案の実施 ②分かりやすい情報の提供 ③ラインアップの整備 ④管理態勢の整備 ⑤社員教育の徹底		

成果（共通KPI ※1）

① **投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率**
② **投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン**
③ **外貨建保険の運用評価別顧客比率**
④ **外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン**

成果（独自KPI）

① 投資信託・積立投信の契約者数
② 投資信託残高
③ NISA口座開設数
④ ワイエムアセットマネジメント運用資産残高推移
⑤ グループ会社の投資信託の販売比率
⑥ 毎月分配型投資信託の販売比率
⑦ FP資格保有率

※共通KPIは、金融庁から公表された「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて」および「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて」に基づく指標

共通KPI

比較可能な共通KPIについて

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

お客さまの運用成果に関する共通KPIの内容

投資信託・外貨建保険の運用成果の状況として、以下4点の指標を掲載します。

① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率
基準日時点の保有投資信託およびファンドラップにかかる購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標でお客さまの運用損益がどの様に分布しているかを確認することができます。

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン
設定後5年以上の銘柄について、加重平均のコストとリターンおよびリスクとリターンの関係を示した指標で、中長期的にどのようなコスト・リスク／リターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認することができます。

③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率
基準日時点の外貨建保険にかかる購入時以降のリターンを算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標で、お客さまの運用評価がどの様に分布しているかを確認することができます。

④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン
契約後5年以上保有している契約について、加重平均のコストとリターンの関係を示した指標で、中長期的にどのようなコスト・リターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認することができます。

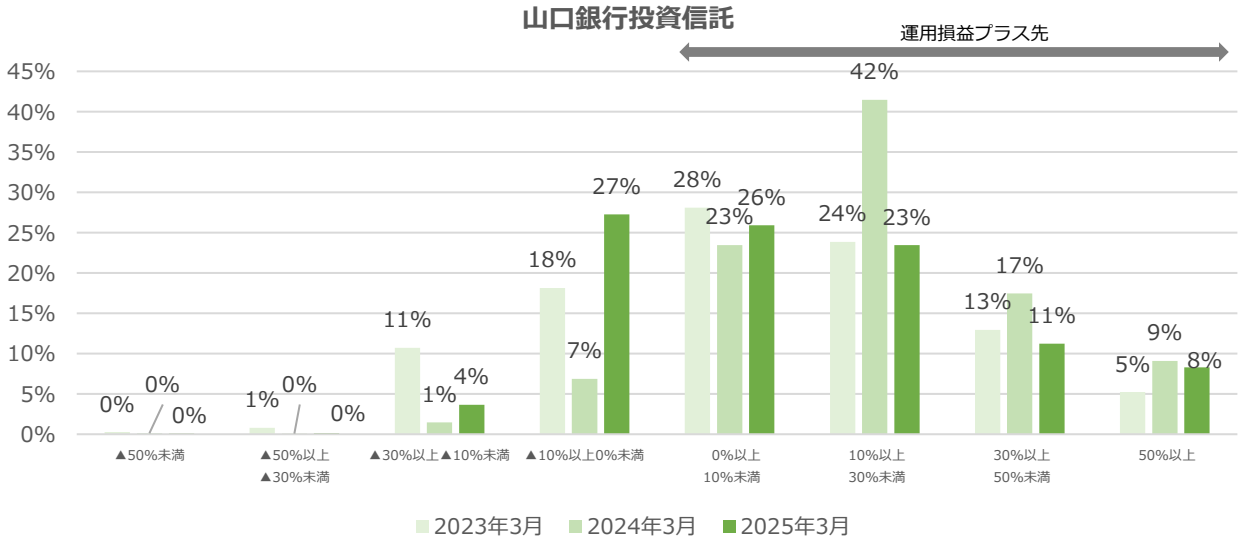
投資信託関連指標	定義・算出方法
運用損益	基準日時点の評価金額＋税引後累計受取分配金額＋累計売付金額－累計買付金額（含む消費税込の販売手数料））÷基準日時点の評価金額
コスト	当該販売手数料上限の1/5と信託報酬率の合計値
リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
リターン	過去5年間のトータルリターン（年率換算）

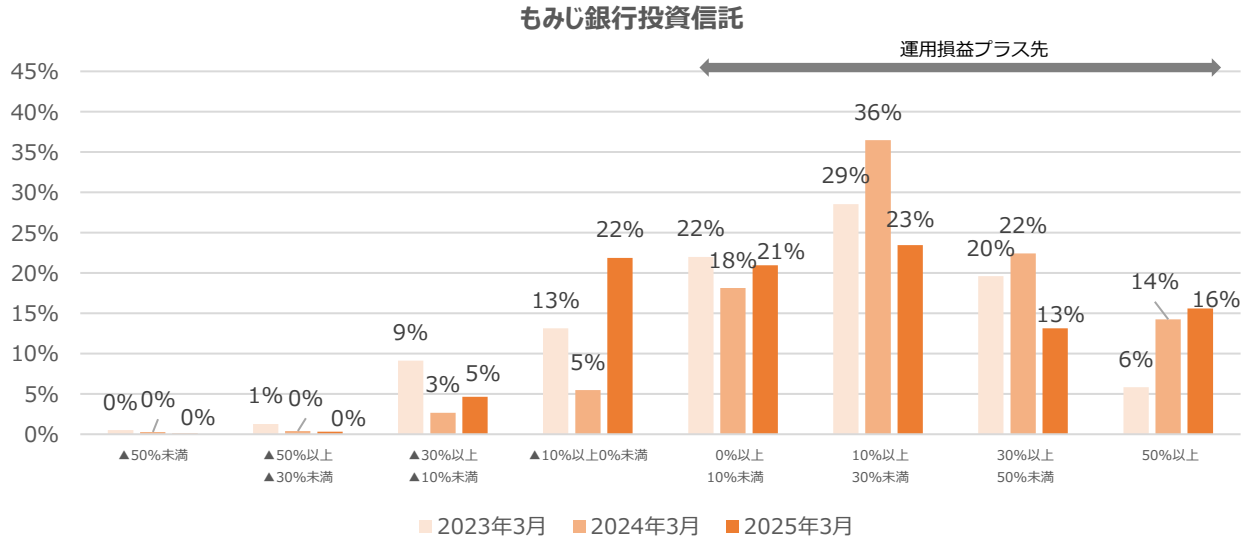
外貨建保険関連指標	定義・算出方法
運用評価	（基準日の解約返戻金額＋基準日の既支払金額－契約時点の一時払保険料（いずれも円換算））÷契約時点の一時払保険料（円換算）
コスト	基準日時点で5年以上保有している契約について、各契約の新契約手数料率と継続手数料率（累計支払）の合計値を契約期間（経過月数）で年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均した指標
リターン	基準日時点で5年以上保有している契約について、各契約の契約時点の一時払保険料に対する、基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均した指標

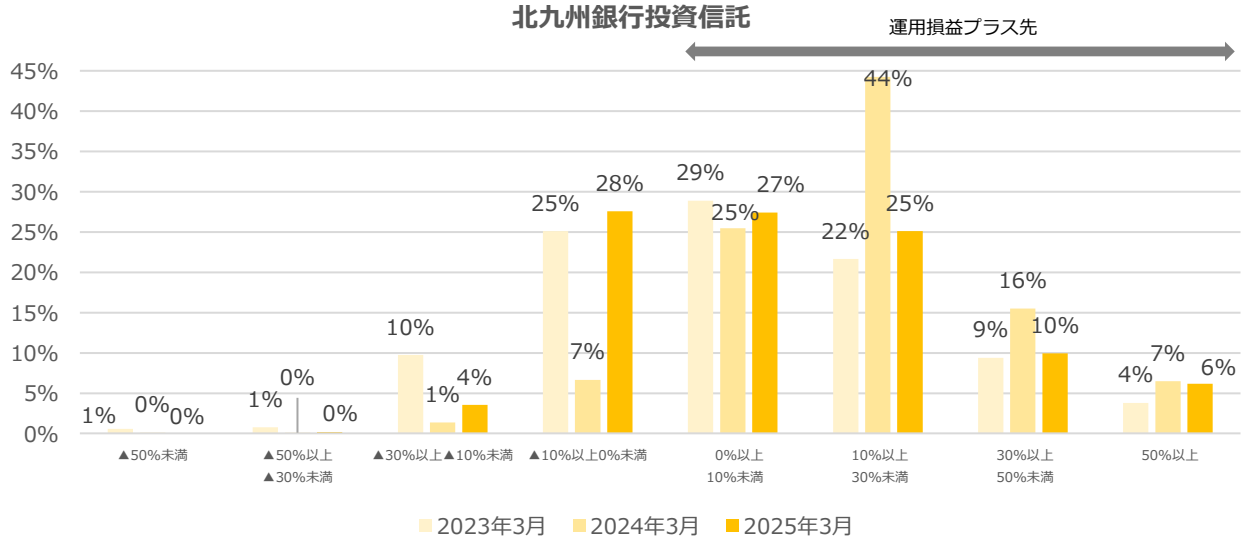
①投資信託における運用損益別顧客比率_３銀行　共通KPI

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

- 2024年度は期中に複数回の上昇・下落を繰り返す不安定な相場であったことや、相場上昇時に新規にお買付いただいたお客様の含み損が発生していることから、運用損益がマイナスとなったお客さまの割合が増加しました。
- 運用損益がプラスのお客さまは、山口銀行が68.9%（2024年3月末比▲22.6ポイント）、もみじ銀行が73.1%（同比▲18.2ポイント）、北九州銀行が68.6%（同比▲ 23.2ポイント）となっています。







【運用損益プラスのお客さま比率】（2023年3月末～2025年3月末）

	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2024年3月比
山口銀行	70.1%	91.5%	68.9%	▲22.6ポイント
もみじ銀行	76.0%	91.3%	73.1%	▲18.2ポイント
北九州銀行	63.8%	91.8%	68.6%	▲23.2ポイント

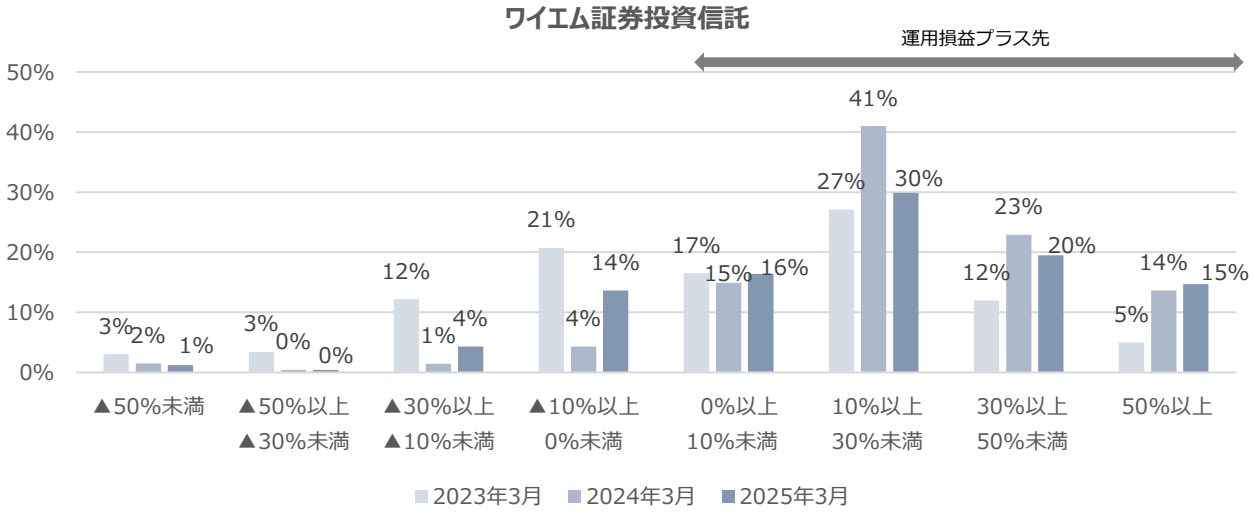
（参考）市場動向の推移（2023年3月末～2025年3月末）※終値

日経平均株価	28,041.48	40,369.44	35,617.56	▲11.8%
NYダウ	33,274.15	39,807.37	42,001.76	+5.5%
米ドル/円	132.79	151.31	149.95	▲0.9%

①投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率_ワイエム証券 共通KPI

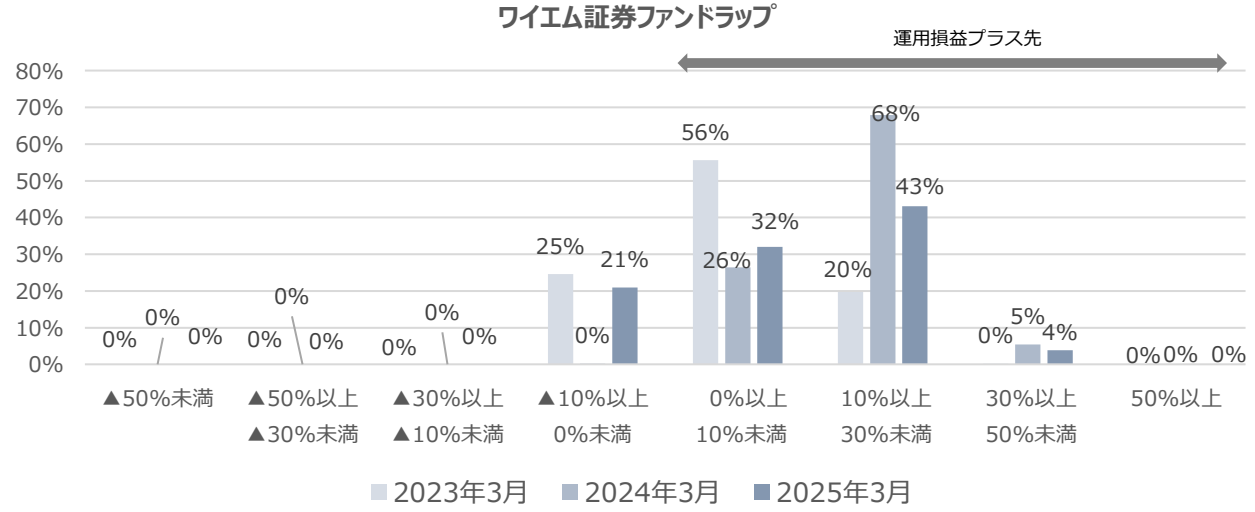
この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

- 2024年度は期中に複数回の上昇・下落を繰り返す不安定な相場であったことや、相場上昇時に新規にお買付いただいたお客様の含み損が発生していることから、運用損益がマイナスとなったお客さまの割合が増加しました。
- ファンドラップについては、パフォーマンスの低下等も要因となり、マイナスのお客さまの割合が増加したと想定されます。
- 運用損益がプラスのお客さまは、投資信託が80.5%（2024年3月末比▲11.9ポイント）、ファンドラップが79.1%（同比▲20.7ポイント）となっています。



【運用損益プラスのお客さま比率】（2023年3月末～2025年3月末）

	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2024年3月比
ワイエム証券（投資信託）	60.6%	92.4%	80.5 %	▲11.9ポイント



【運用損益プラスのお客さま比率】（2023年3月末～2025年3月末）

	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2024年3月比
ワイエム証券（ファンドラップ）	75.5%	99.8%	79.1%	▲20.7ポイント

（参考）市場動向の推移（2023年3月末～2025年3月末）　※終値

日経平均株価	28,041.48	40,369.44	35,617.56	▲11.8%
NYダウ	33,274.15	39,807.37	42,001.76	+5.5%
米ドル/円	132.79	151.31	149.95	▲0.9%

②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン_山口銀行

共通KPI

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

- 2025年3月末時点での残高上位20銘柄のコスト・リターンは、コスト1.4%（2024年3月末比▲0.2ポイント）、リスク11.3%（同比▲0.9ポイント）に対してリターン12.1%（同比＋4.4ポイント）となりました。
- コストの低いファンドの残高増加により、加重平均コストが減少したことに加え、海外株式を中心とした市場環境の改善をうけ、全体のリスク・リターンは改善しました。

2025年3月末

順位	銘柄名	運用会社	カテゴリ	コスト	リターン	リスク
1	ＹＭアセット・バランスファンド（成長）	ワイエムAM	バランス	1.5%	3.9%	7.5%
2	ＹＭアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	海外株式	2.0%	23.6%	17.5%
3	ＹＭアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	国内株式	1.8%	20.3%	12.3%
4	ｉＦｒｅｅ　Ｓ＆Ｐ５００インデックス	大和AM	海外株式	0.2%	25.3%	16.2%
5	杏の実（毎月分配型）	大和AM	海外債券	1.7%	6.4%	9.3%
6	グローバルソブリンオープン（毎月決算型）	三菱UFJAM	海外債券	1.7%	2.5%	6.4%
7	ＡＢ米国成長株投信Ｄ（Ｈなし）予想分配	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.4%	18.4%
8	ﾌｨﾃﾞﾘﾃｨ・ＵＳﾘｰﾄ・ﾌｧﾝﾄﾞＢ	フィデリティ	不動産	2.0%	16.5%	16.5%
9	ＹＭアセット・バランスファンド（安定）	ワイエムAM	バランス	1.4%	-1.6%	6.4%
10	ｅＭＡＸＩＳＳｌｉｍ全世界株式	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	22.8%	14.2%
11	ｅＭＡＸＩＳＳｌｉｍ米国株式Ｓ＆Ｐ５００	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	25.5%	16.2%
12	ＡＢ米国成長株投信Ｂ（為替ヘッジなし）	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.5%	18.5%
13	財産３分法ファンド（毎月分配型）	日興AM	バランス	1.5%	6.6%	7.7%
14	ｉＦｒｅｅ　日経２２５インデックス	大和AM	国内株式	0.2%	15.4%	15.7%
15	ｉＦｒｅｅ外国株式インデックス／ヘッジ無	大和AM	海外株式	0.2%	24.2%	15.3%
16	ストックインデックスファンド２２５	大和AM	国内株式	0.7%	15.0%	15.6%
17	ダイワＪ－ＲＥＩＴオープン（毎月分配型）	大和AM	不動産	1.0%	4.7%	11.0%
18	グローバルハイインカムストックファンド	野村AM	海外株式	1.7%	20.5%	12.1%
19	ダイワ・ライフ・バランス５０	大和AM	バランス	0.2%	9.0%	7.0%
20	ｉＦｒｅｅ　８資産バランス	大和AM	バランス	0.2%	11.4%	8.1%
残高加重平均値				**1.4%**	**12.1%**	**11.3%**

※リスク・リターンについては、新規取扱ファンドの取引開始前より以前の基準価額及び分配金単価がシステム上過去に遡って遡及できないことから、ウエルスアドバイザー社の算出するリスクリターン（直近5年のリスク・リターン、2025年3月末時点）にて算出しております。

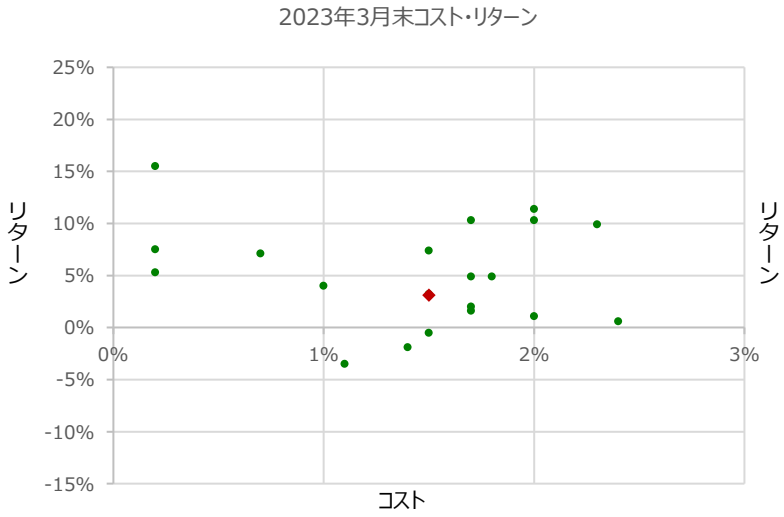
②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン散布図_山口銀行

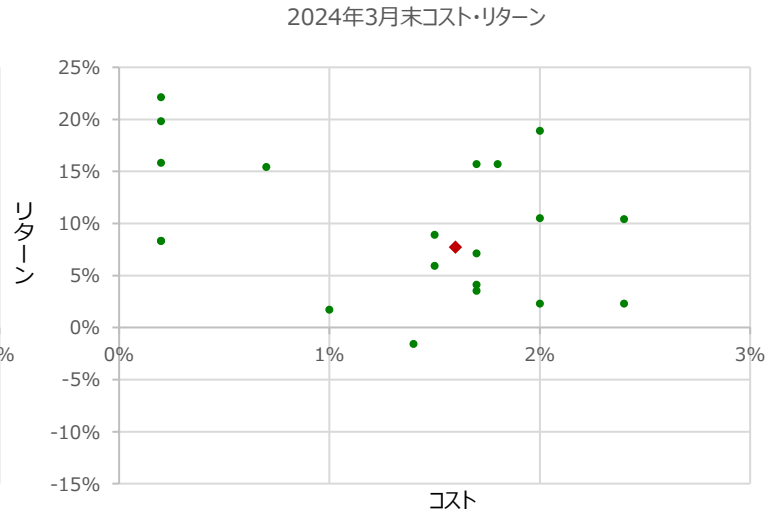
共通KPI

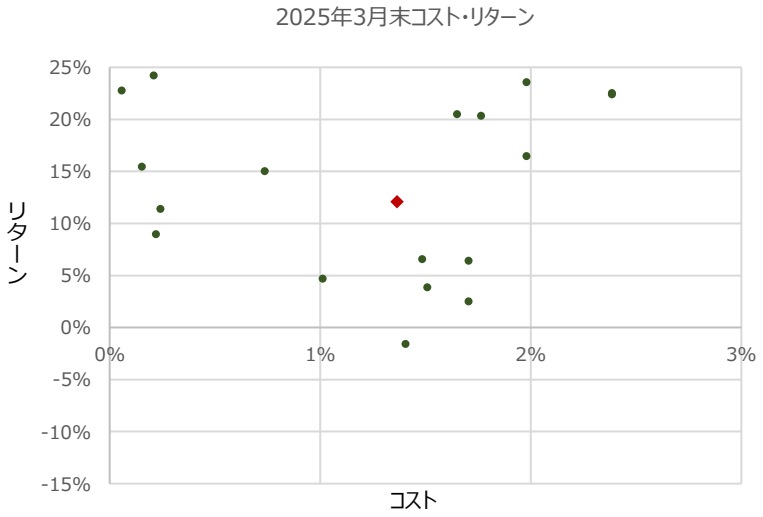
この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

- 山口銀行における2023年3月末～2025年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
- 2023年3月末以降、日米株価の高値更新など好調な市場環境を背景に、加重平均リターンが改善しました。
- また、コストの低いファンドの残高が増加したことにより、加重平均コストが減少しています。 ※表内の◆は加重平均を表しています。

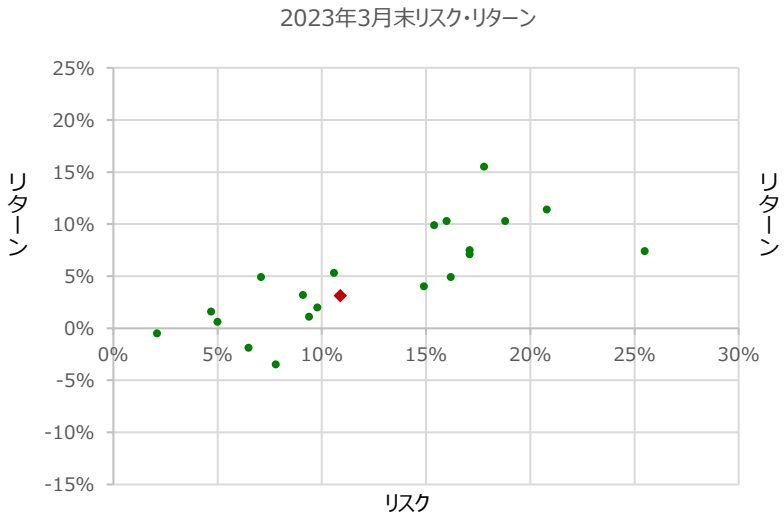
コスト・リターン

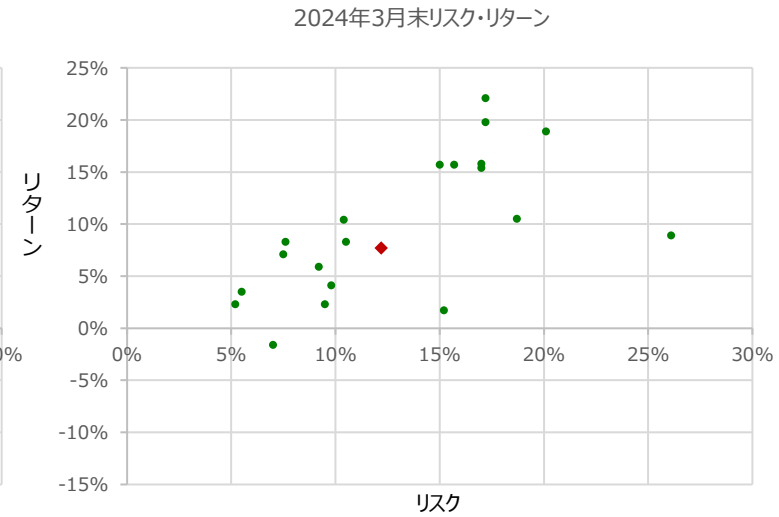


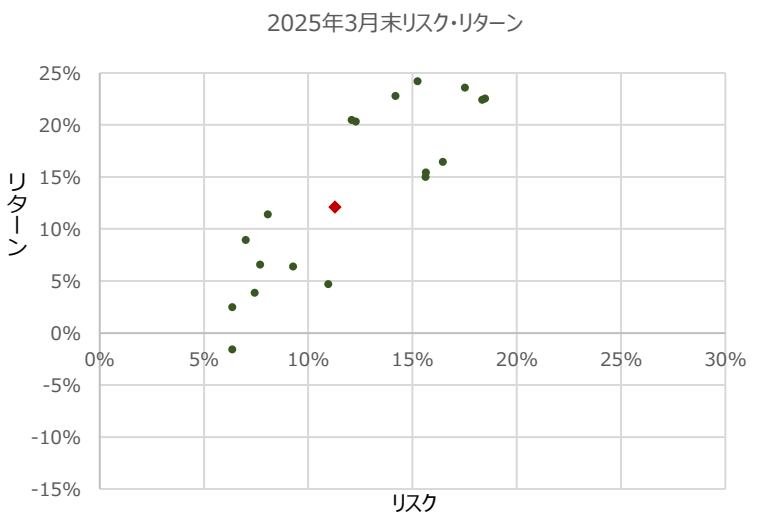




リスク・リターン







②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン_もみじ銀行

共通KPI

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

- 2025年3月末時点での残高上位20銘柄のコスト・リターンは、コスト1.4%（2024年3月末比▲0.1ポイント）、リスク11.8%（同比▲1.2ポイント）に対して、リターン12.7%（同比＋4.6%）となりました。
- コストの低いファンドの残高増加により、加重平均コストがやや減少したことに加え、海外株式を中心とした市場環境の改善をうけ、全体のリスク・リターンは改善しました。

2025年3月末

順位	銘柄名	運用会社	カテゴリ	コスト	リターン	リスク
1	ＹＭアセット・バランスファンド（成長）	ワイエムAM	バランス	1.5%	3.9%	7.5%
2	ﾌｨﾃﾞﾘﾃｨ・ＵＳﾘｰﾄ・ﾌｧﾝﾄﾞＢ	フィデリティ	不動産	2.0%	16.5%	16.5%
3	ＹＭアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	国内株式	1.8%	20.3%	12.3%
4	ＹＭアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	海外株式	2.0%	23.6%	17.5%
5	ｉＦｒｅｅ　Ｓ＆Ｐ５００インデックス	大和AM	海外株式	0.2%	25.3%	16.2%
6	インデックスファンド２２５	日興AM	国内株式	0.8%	15.0%	15.6%
7	ＡＢ米国成長株投信Ｄ（Ｈなし）予想分配	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.4%	18.4%
8	財産３分法ファンド（毎月分配型）	日興AM	バランス	1.5%	6.6%	7.7%
9	ピクテグローバルインカム株式　毎月分配型	ピクテ	海外株式	2.3%	13.8%	13.0%
10	杏の実（毎月分配型）	大和AM	海外債券	1.7%	6.4%	9.3%
11	ＭＨＡＭ　Ｊ－ＲＥＩＴインデックス　毎月	AMONE	不動産	0.9%	4.8%	10.9%
12	ｉＦｒｅｅ　日経２２５インデックス	大和AM	国内株式	0.2%	15.4%	15.7%
13	ｅＭＡＸＩＳＳｌｉｍ全世界株式	三菱UFJAM	海外株式	0.0%	22.8%	14.2%
14	ｅＭＡＸＩＳＳｌｉｍ米国株式Ｓ＆Ｐ５００	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	25.5%	16.2%
15	ＡＢ米国成長株投信Ｂ（為替ヘッジなし）	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.5%	18.5%
16	セッション（毎月分配型）	野村AM	バランス	1.7%	7.9%	7.3%
17	トレンド・アロケーション・オープン	三菱UFJAM	バランス	1.6%	-0.2%	5.6%
18	ｉＦｒｅｅ外国株式インデックス／ヘッジ無	大和AM	海外株式	0.2%	24.2%	15.3%
19	ｉＦｒｅｅ　８資産バランス	大和AM	バランス	0.2%	11.4%	8.1%
20	メイフラワー号	フランクリン・テンプルトン	海外債券	1.8%	5.0%	7.4%
	残高加重平均値			**1.4%**	**12.7%**	**11.8%**

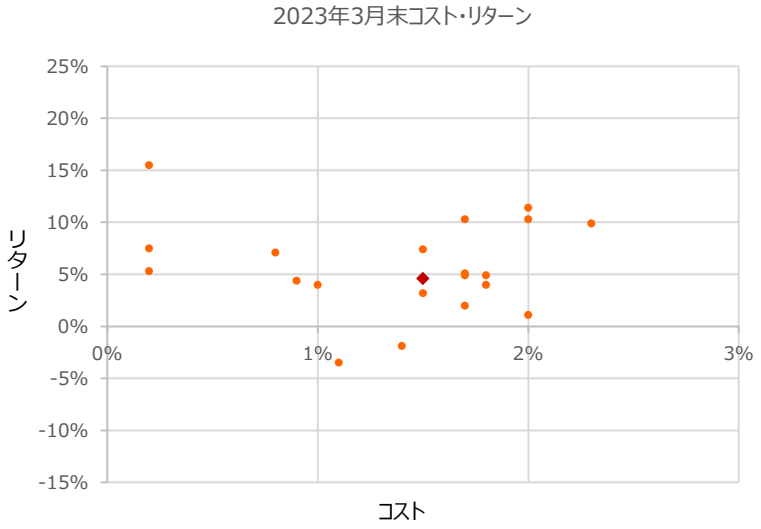
※リスク・リターンについては、新規取扱ファンドの取引開始前より以前の基準価額及び分配金単価がシステム上過去に遡って遡及できないことから、ウエルスアドバイザー社の算出するリスクリターン（直近5年のリスク・リターン、2025年3月末時点）にて算出しております。

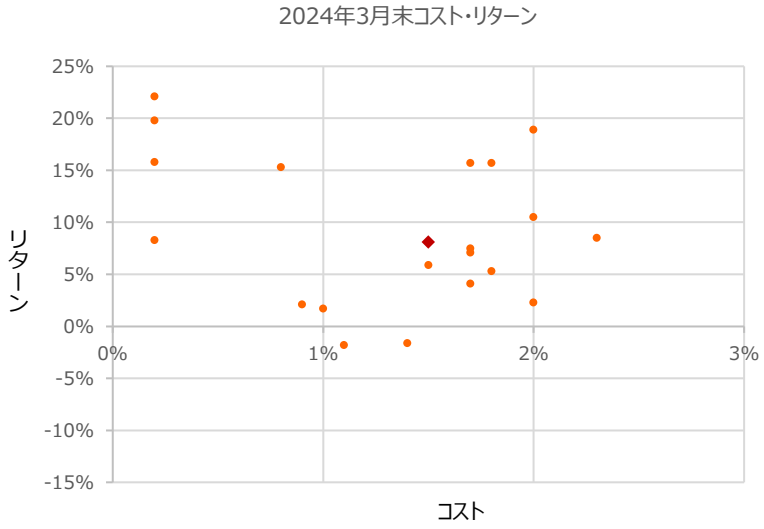
②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン散布図_もみじ銀行

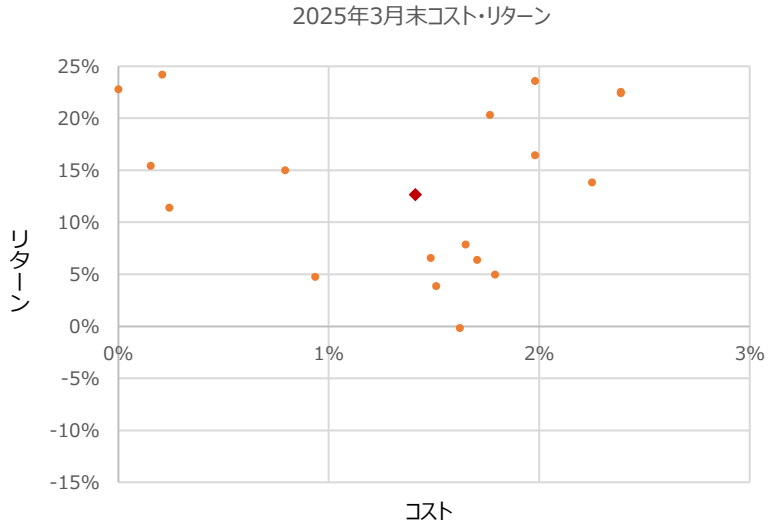
共通KPI

- もみじ銀行における2023年3月末～2025年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
- 2023年3月末以降、日米株価の高値更新など好調な市場環境を背景に、加重平均リターンが改善しました。
- また、コストの低いファンドの残高が増加したことにより、加重平均コストがやや減少しています。　※表内の◆が加重平均を表しています。

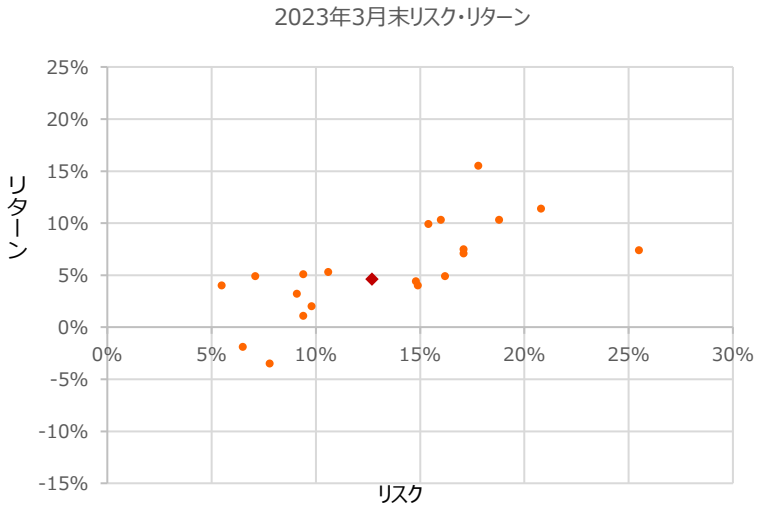
コスト・リターン

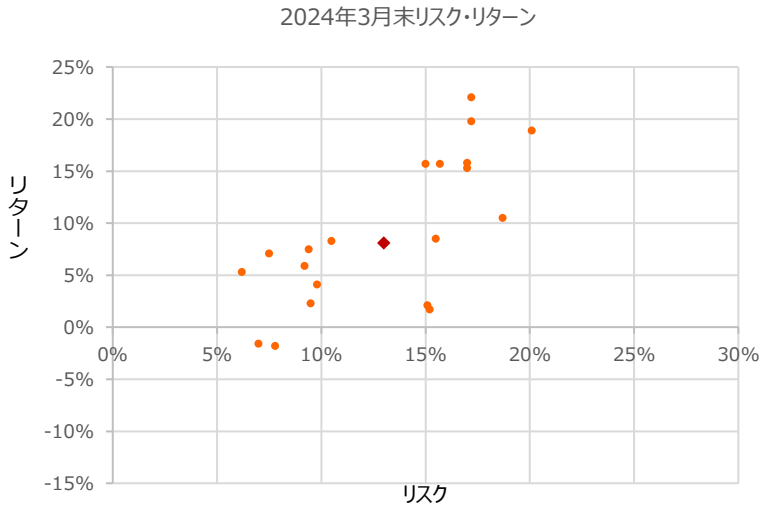


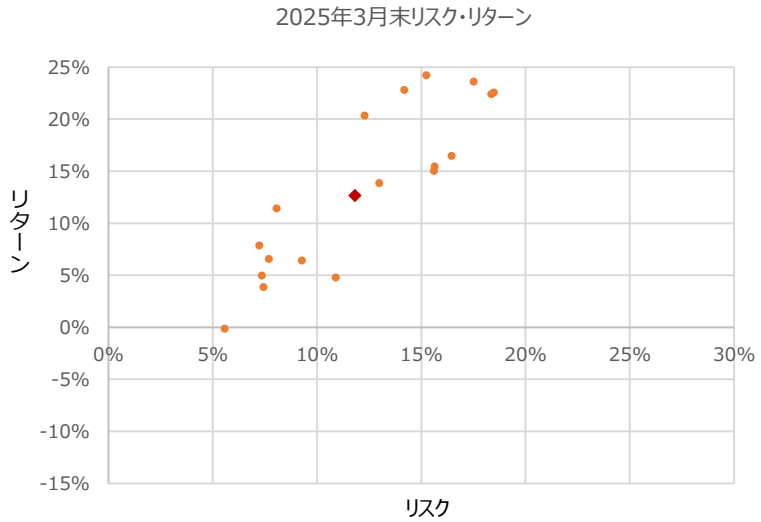




リスク・リターン







②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン_北九州銀行

共通KPI

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

- 2025年3月末時点での残高上位20銘柄のコスト・リターンは、コスト1.4%（2024年3月末比▲0.1ポイント）、リスク13.6%（同比▲0.2ポイント）に対してリターン16.5%（同比＋6.8ポイント）となりました。
- コストの低いファンドの残高増加により、加重平均コストがやや減少したことに加え、海外株式を中心とした市場環境の改善をうけ、全体のリスク・リターンは改善しました。

2025年3月末

順位	銘柄名	運用会社	カテゴリ	コスト	リターン	リスク
1	ＹＭアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	海外株式	2.0%	23.6%	17.5%
2	ＹＭアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	国内株式	1.8%	20.3%	12.3%
3	ストックインデックスファンド２２５	大和AM	国内株式	0.7%	15.0%	15.6%
4	杏の実（毎月分配型）	大和AM	海外債券	1.7%	6.4%	9.3%
5	ＡＢ米国成長株投信Ｂ（為替ヘッジなし）	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.5%	18.5%
6	ｉＦｒｅｅ　Ｓ＆Ｐ５００インデックス	大和AM	海外株式	0.2%	25.3%	16.2%
7	フィデリティ・世界割安成長株Ｂ（Ｈ無）	フィデリティ	海外株式	2.3%	22.2%	15.0%
8	ﾌｨﾃﾞﾘﾃｨ・ＵＳﾘｰﾄ・ﾌｧﾝﾄﾞＢ	フィデリティ	不動産	2.0%	16.5%	16.5%
9	ＹＭアセット・バランスファンド（成長）	ワイエムAM	バランス	1.5%	3.9%	7.5%
10	ｅＭＡＸＩＳＳｌｉｍ米国株式Ｓ＆Ｐ５００	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	25.5%	16.2%
11	ｅＭＡＸＩＳＳｌｉｍ全世界株式	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	22.8%	14.2%
12	グローバルソブリンオープン（毎月決算型）	三菱UFJAM	海外債券	1.7%	2.5%	6.4%
13	ＡＢ米国成長株投信Ｄ（Ｈなし）予想分配	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.4%	18.4%
14	ダイワＪ－ＲＥＩＴオープン（毎月分配型）	大和AM	不動産	1.0%	4.7%	11.0%
15	ＹＭアセット・バランスファンド（安定）	ワイエムAM	バランス	1.4%	-1.6%	6.4%
16	グローバルハイインカムストックファンド	野村AM	海外株式	1.7%	20.5%	12.1%
17	ｉＦｒｅｅ　日経２２５インデックス	大和AM	国内株式	0.2%	15.4%	15.7%
18	ｉＦｒｅｅ　８資産バランス	大和AM	バランス	0.2%	11.4%	8.1%
19	ピクテグローバルインカム株式　毎月分配型	ピクテ	海外株式	2.3%	13.8%	13.0%
20	財産３分法ファンド（毎月分配型）	日興AM	バランス	1.5%	6.6%	7.7%
残高加重平均値				**1.4%**	**16.5%**	**13.6%**

※リスク・リターンについては、新規取扱ファンドの取引開始前より以前の基準価額及び分配金単価がシステム上過去に遡って遡及できないことから、ウエルスアドバイザー社の算出するリスクリターン（直近5年のリスク・リターン、2025年3月末時点）にて算出しております。

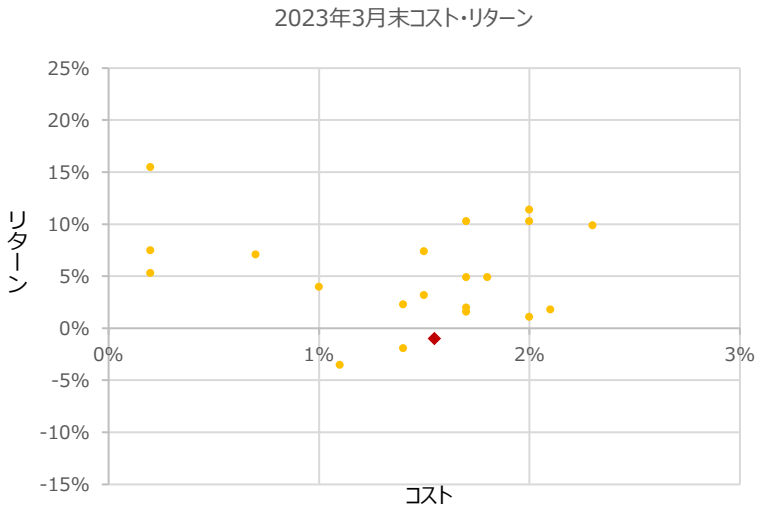
②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン散布図_北九州銀行

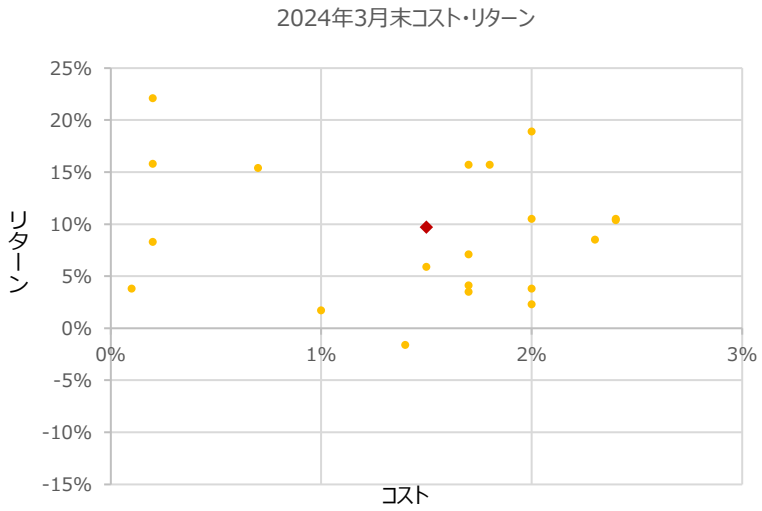
共通KPI

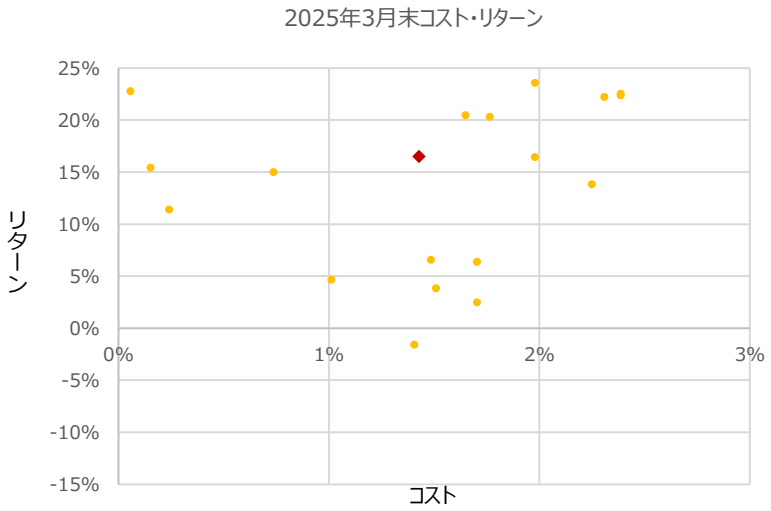
この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

- 北九州銀行における2023年3月末～2025年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
- 2023年3月末以降、日米株価の高値更新など好調な市場環境を背景に、加重平均リターンが改善しました。
- また、コストの低いファンドの残高が増加したことにより、加重平均コストがやや減少しています。　※表内の◆が加重平均を表しています。

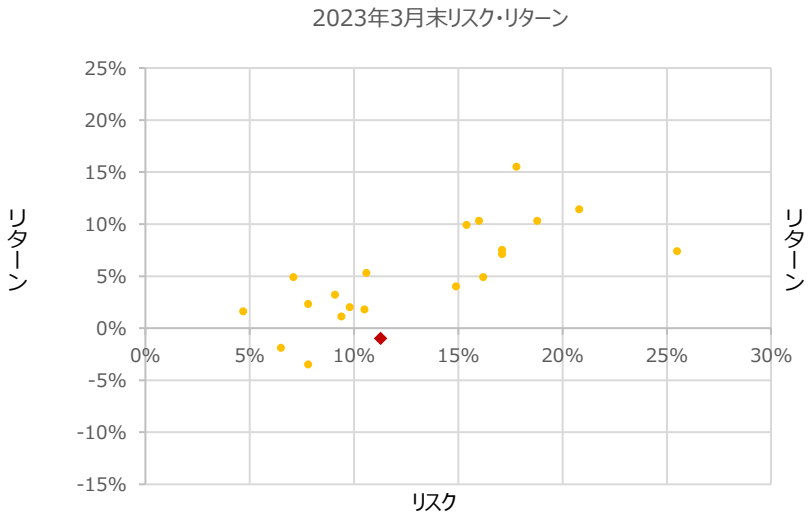
コスト・リターン

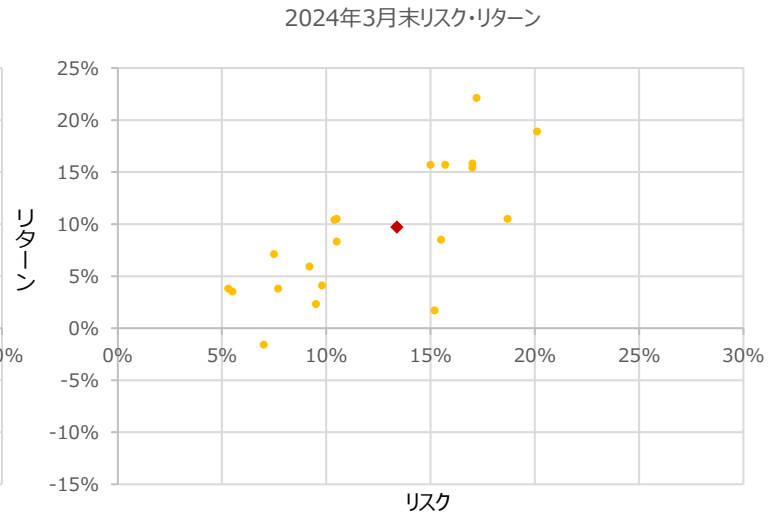


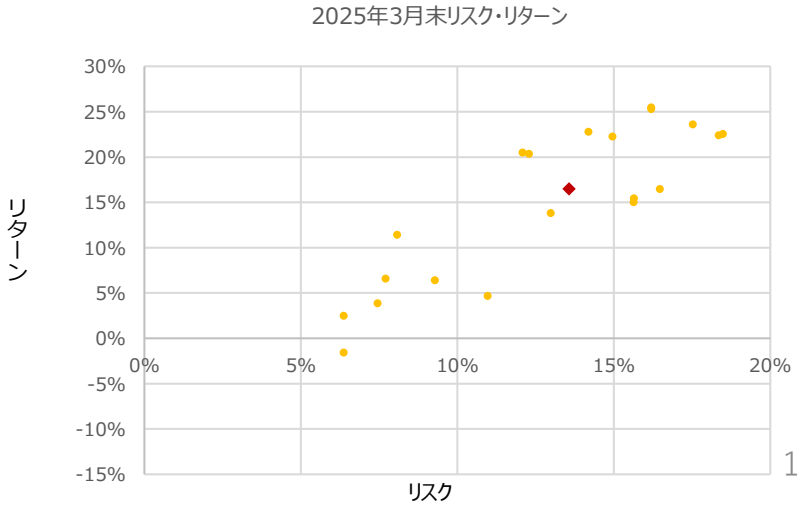




リスク・リターン







②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン_ワイエム証券

共通KPI

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

- 2025年3月末時点での残高上位20銘柄のコスト・リターンは、コスト2.4%（2024年3月末比横ばい）、リスク16.5%（同比+0.6ポイント）に対してリターン21.5%（同比＋11.4ポイント）となりました。
- 海外株式を中心とした市場環境の改善をうけ、リスクを取りながらも効率的なリターンを得られています。

2025年3月末

順位	銘柄名	運用会社	カテゴリ	コスト	リターン	リスク
1	インベスコ　世界厳選株式オープン＜為替Ｈなし＞（毎月決算型）	インベスコ	海外株式	2.6%	24.2%	15.1%
2	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Ｄコース	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.4%	18.4%
3	ＹＭアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	海外株式	2.0%	23.6%	17.5%
4	ピクテ・バイオ医薬品Ｆ（毎月決算型）為替ヘッジなしコース	ピクテ	海外株式	2.8%	11.5%	15.4%
5	ＹＭアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	国内株式	1.8%	20.3%	12.3%
6	ラサール・グローバルＲＥＩＴファンド（毎月分配型）	日興AM	不動産	2.1%	16.0%	15.7%
7	ｎｅｔＷＩＮ　ＧＳテクノロジー株式ファンド　Ｂ（ヘッジなし）	ゴールドマン・サックス・AM	海外株式	2.8%	22.5%	22.5%
8	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信　Ｂコース	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.5%	18.5%
9	次世代通信関連　世界株式戦略ファンド	三井住友トラストAM	海外株式	2.5%	18.4%	23.6%
10	Ｊ－ＲＥＩＴ・リサーチ・オープン（毎月決算型）	三井住友トラストAM	不動産	1.5%	4.7%	11.0%
11	イーストスプリング・インド株式ファンド（３ヵ月決算型）	イーストスプリング	海外株式	2.6%	27.6%	16.1%
12	インベスコ世界厳選株式オープン＜為替Ｈなし＞（年１回決算型）	インベスコ	海外株式	2.6%	24.2%	15.2%
13	Ｔ＆Ｄインド中小型株ファンド	T&DAM	海外株式	2.7%	26.7%	17.5%
14	ニッセイ宇宙関連グローバル株式Ｆ（資産成長型・為替Ｈなし）	ニッセイAM	海外株式	2.6%	21.9%	17.1%
15	イーストスプリング・インド株式オープン	イーストスプリング	海外株式	2.6%	27.8%	16.3%
16	グローバルＡＩファンド	三井住友ＤSAM	海外株式	2.6%	23.1%	27.3%
17	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	ピクテ	海外株式	2.3%	13.8%	13.0%
18	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年２回決算型）	日興AM	海外株式	2.6%	20.6%	19.5%
19	フィデリティ・世界割安成長株投信　Ｂコース（為替ヘッジなし）	フィデリティ	海外株式	2.3%	22.2%	15.0%
20	ＧＳグローバル・ビッグデータ投資戦略　Ｂコース（為替Ｈなし）	ゴールドマン・サックス・AM	海外株式	2.0%	22.8%	15.4%
	残高加重平均値			**2.4%**	**21.5%**	**16.5%**

※従来は、KPIの算出期間である5年前の分配落ち後基準価額を起点とし、各期の分配落ち後基準価額に分配金を累積加算した基準価額を用いて、直近5年のリスク・リターンを算出しておりました。今回より、算出に用いる基準価額を、設定来の分配金再投資後（税引前）の基準価額に変更し、直近5年のリスク・リターンを算出しております。

②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン散布図_ワイエム証券

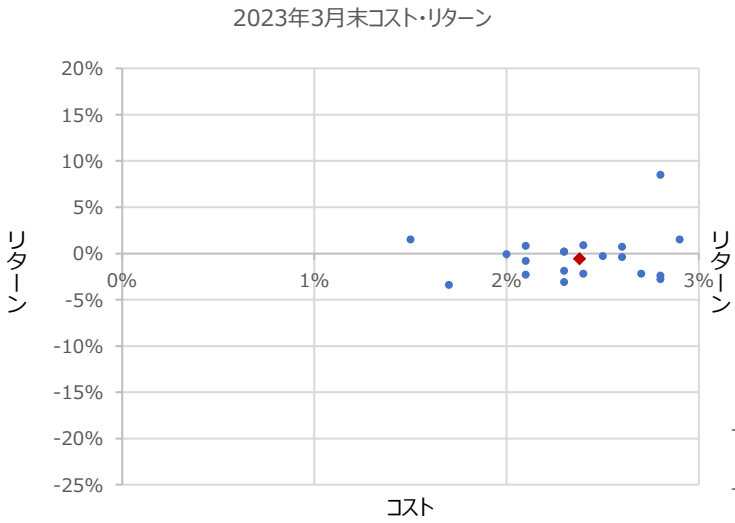
共通KPI

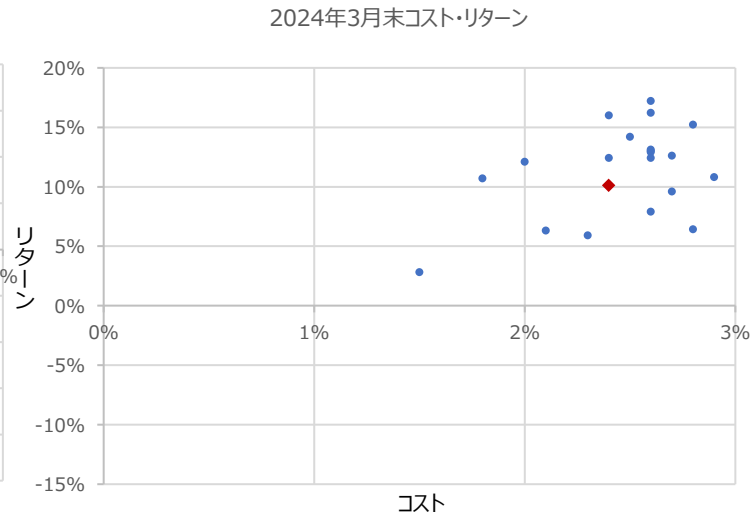
この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

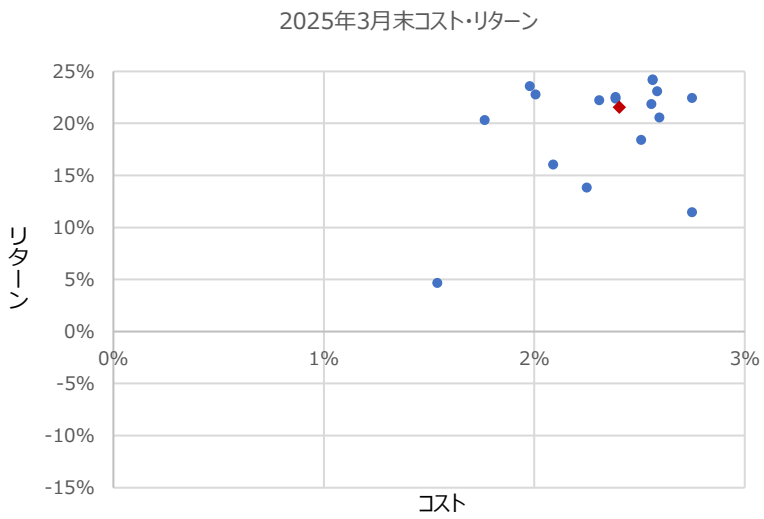
- ワイエム証券における2023年3月末～2025年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
- 2023年3月末以降、日米株価の高値更新など好調な市場環境を背景に、加重平均リターンが改善しました。

※表内の◆が加重平均を表しています。

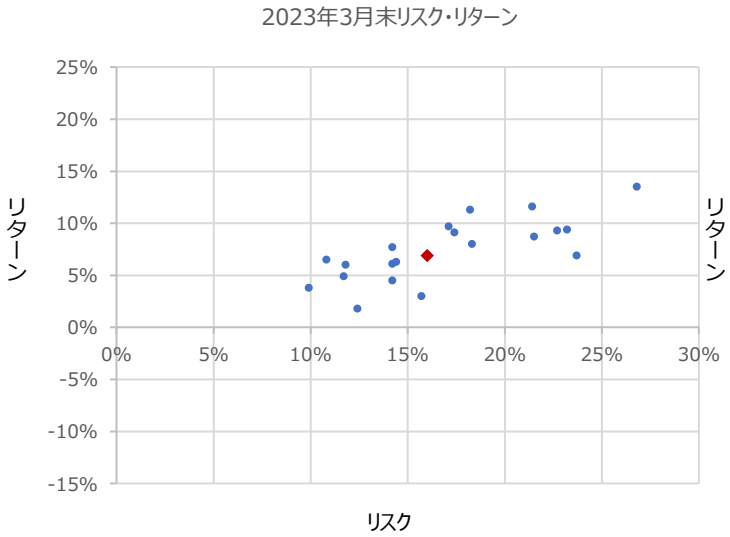
コスト・リターン

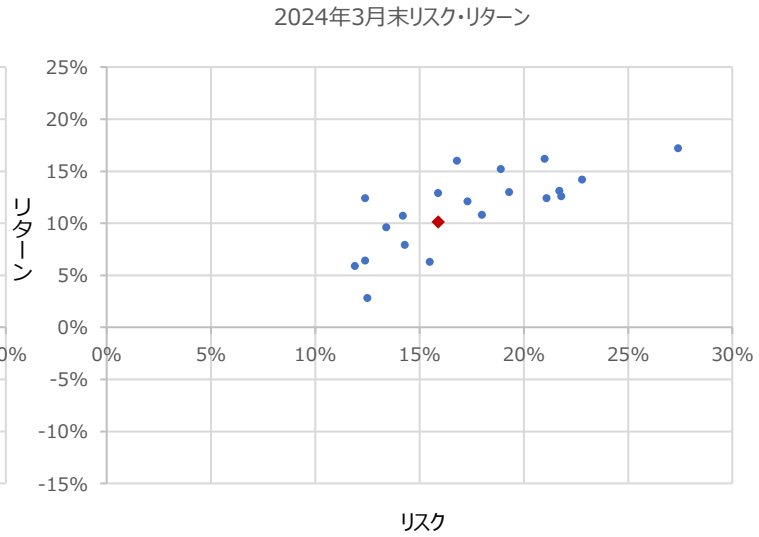


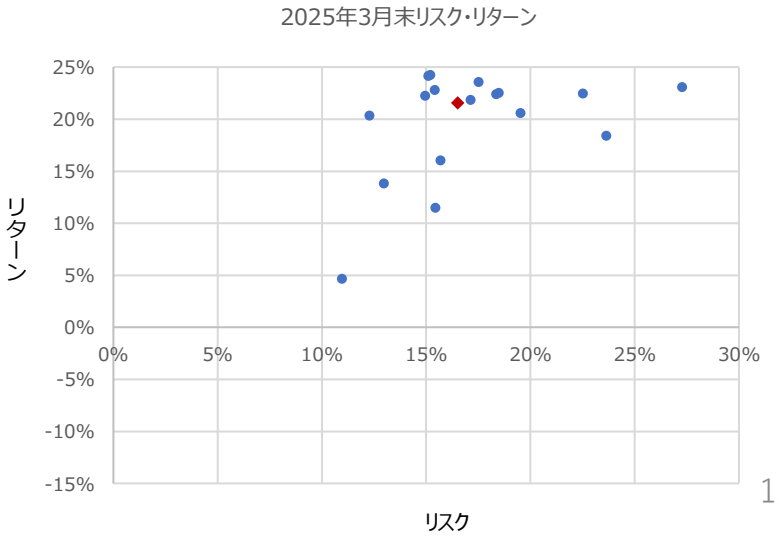




リスク・リターン



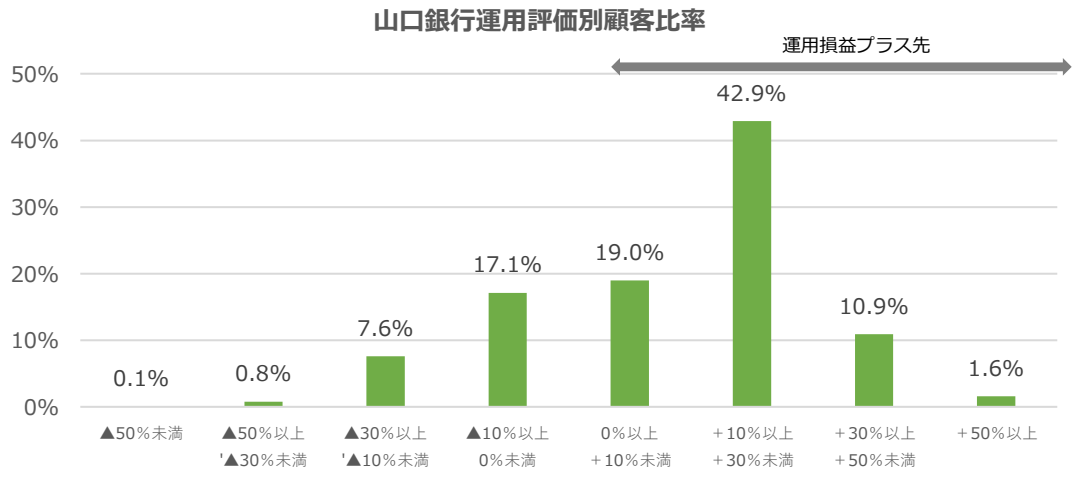


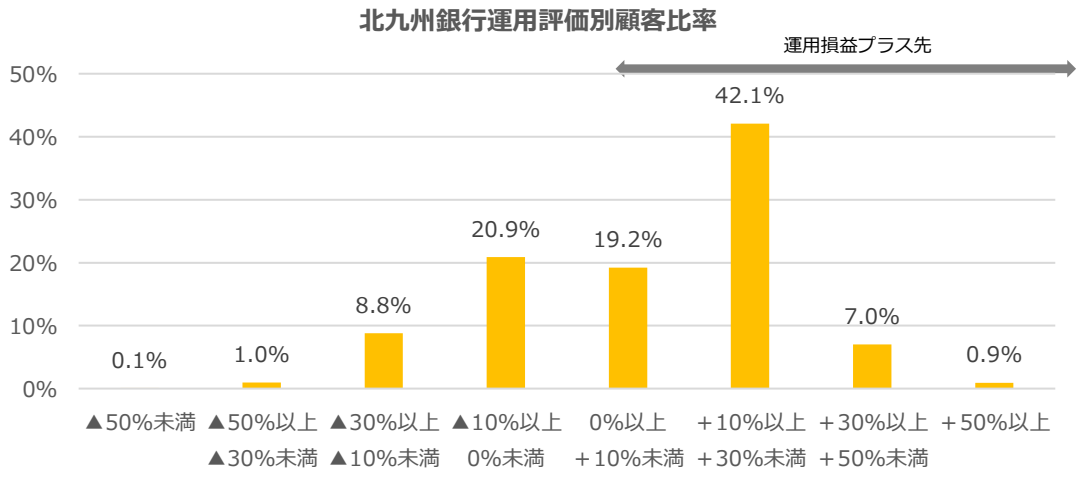


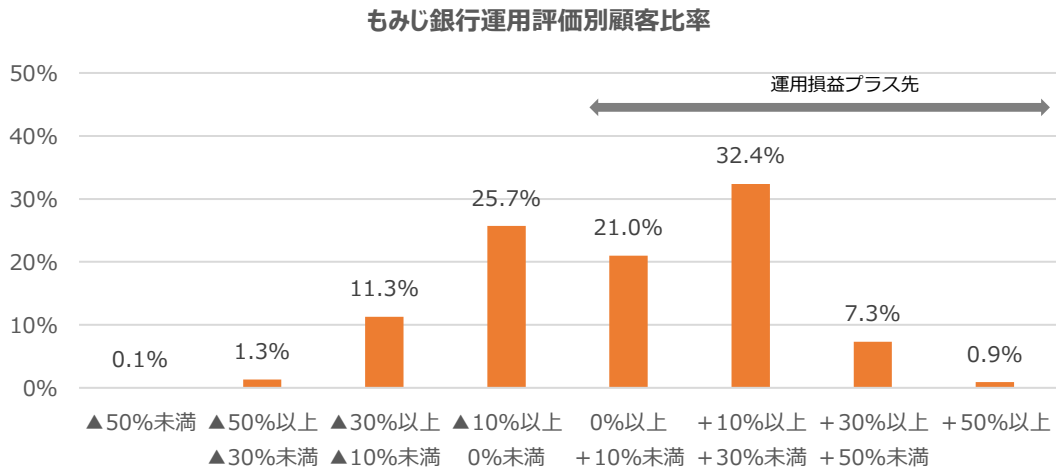
③外貨建保険の運用評価別顧客比率_３銀行

共通KPI

- 2025年3月末時点で運用評価がプラスのお客さまは、山口銀行74.4%（2024年3月末比▲15.6ポイント）、もみじ銀行61.6%（同比▲25.3ポイント）、北九州銀行69.2%（同比▲18.7ポイント）となっております。
- 市場金利が上昇し、市場価格調整によりマイナスに働いたこと等をうけ、運用評価がマイナスのお客さまの割合が増加しました。







【運用評価プラスのお客さま比率】（2023年3月末～2025年3月末）

	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2024年3月比
山口銀行	71.0%	90.0%	74.4%	▲15.6ポイント
もみじ銀行	67.7%	86.9%	61.6%	▲25.3ポイント
北九州銀行	63.9%	87.9%	69.2%	▲18.7ポイント

④外貨建保険預り残高上位20商品のコスト・リターン_3銀行

共通KPI

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

- 2025年3月末時点での残高上位20商品のコスト・リターンは、山口銀行でコスト0.7%（2024年3月末比▲0.1ポイント）、リターン2.4%（同比▲0.4ポイント）、もみじ銀行でコスト0.7%（同比▲0.1ポイント）、リターン2.4%（同比▲0.3ポイント）、北九州銀行でコスト0.7%（同比横ばい）、リターン2.4%（同比▲0.2ポイント）となりました。
- 市場金利の上昇に伴い、市場価格調整がマイナス要因となったことで、全体としてリターンはやや低下しました。

山口銀行（2025年3月末）

順位	銘柄名	コスト	リターン
1	サニーガーデンＥＸ	0.7%	2.8%
2	サニーガーデン	0.5%	1.8%
3	やさしさ、つなぐ	0.5%	0.7%
4	プレミアレシーブ（外貨建）	0.7%	3.1%
5	しあわせ、ずっと	0.7%	1.3%
6	外貨建・エブリバディプラス	0.6%	2.7%
7	ビー　ウィズ　ユー　プラス	0.8%	-0.2%
8	ロングドリームＧＯＬＤ	0.7%	1.3%
9	ロングドリームＧＯＬＤ２	0.8%	5.4%
10	ロングドリームＧＯＬＤ３	0.9%	4.4%
11	プレミアストーリー２	0.8%	3.5%
12	しあわせ、ずっと２	0.9%	4.2%
13	ビーウィズユー	0.5%	2.2%
14	プレミアカレンシー・プラス２	0.7%	3.0%
15	アップサイドプラス	1.0%	0.1%
16	あしたの、よろこび	0.9%	3.5%
17	デュアルドリーム	0.9%	2.1%
18	プレミアカレンシー・プラス	0.5%	2.2%
19	ロングドリームプラス	0.5%	3.3%
20	プレミアジャンプ	0.7%	1.3%
	残高加重平均	**0.7%**	**2.4%**

もみじ銀行（2025年3月末）

順位	銘柄名	コスト	リターン
1	サニーガーデンＥＸ	0.7%	2.7%
2	サニーガーデン	0.5%	1.6%
3	プレミアレシーブ（外貨建）	0.7%	3.0%
4	やさしさ、つなぐ	0.6%	1.1%
5	ロングドリームＧＯＬＤ	0.7%	1.0%
6	ビー　ウィズ　ユー　プラス	0.8%	-0.5%
7	しあわせ、ずっと	0.6%	1.2%
8	ロングドリームＧＯＬＤ２	0.8%	5.5%
9	外貨建・エブリバディプラス	0.6%	2.3%
10	ロングドリームＧＯＬＤ３	0.9%	4.2%
11	アップサイドプラス	1.0%	-0.2%
12	しあわせ、ずっと２	1.0%	4.5%
13	プレミアカレンシー・プラス２	0.7%	1.9%
14	プレミアストーリー２	0.7%	3.3%
15	デュアルドリーム	1.0%	0.8%
16	あしたの、よろこび	0.9%	3.2%
17	あしたの、よろこび２	0.9%	0.1%
18	プレミアプレゼント	0.9%	0.7%
19	たのしみグローバル（指数）	0.8%	4.3%
20	プレミアジャンプ３・年金（外貨建）	0.7%	0.8%
	残高加重平均	**0.7%**	**2.4%**

北九州銀行（2025年3月末）

順位	銘柄名	コスト	リターン
1	サニーガーデンＥＸ	0.7%	2.8%
2	サニーガーデン	0.5%	1.7%
3	ロングドリームＧＯＬＤ	0.7%	1.5%
4	やさしさ、つなぐ	0.4%	0.5%
5	しあわせ、ずっと	0.7%	1.3%
6	プレミアレシーブ（外貨建）	0.8%	4.2%
7	ロングドリームＧＯＬＤ３	0.9%	4.7%
8	外貨建・エブリバディプラス	0.6%	3.2%
9	ビー　ウィズ　ユー　プラス	0.8%	-1.1%
10	ロングドリームＧＯＬＤ２	0.8%	5.0%
11	デュアルドリーム	0.8%	1.8%
12	プレミアストーリー２	0.8%	3.5%
13	しあわせ、ずっと２	1.0%	4.7%
14	アップサイドプラス	1.1%	-0.8%
15	たのしみグローバル（指数）	0.8%	3.9%
16	ビーウィズユー	0.6%	4.4%
17	プレミアジャンプ３・年金（外貨建）	0.7%	0.8%
18	プレミアプレゼント	0.9%	0.3%
19	あしたの、よろこび２	1.1%	-1.3%
20	プレミアカレンシー・プラス２	0.6%	0.7%
	残高加重平均	**0.7%**	**2.4%**

④外貨建保険預り残高上位20商品のコスト・リターン散布図_3銀行 共通KPI

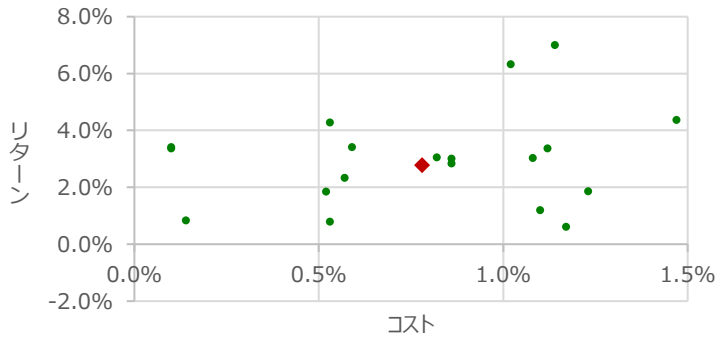
この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

- 外貨建保険預り残高上位20商品における2023年3月末～2025年3月末時点コスト･リターンの散布図は下記のとおりです。
- 前述の記載と同様、市場金利の上昇に伴い、市場価格調整がマイナス要因となったことで、全体としてリターンはやや低下しました。

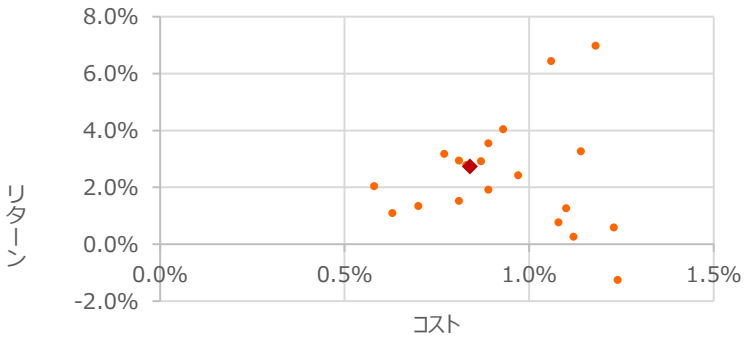
※表内の◆が加重平均を表しています。

コスト・リターン

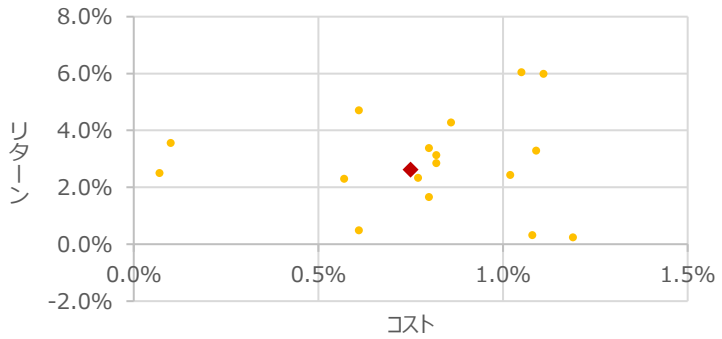
2024年3月末：山口銀行



2024年3月末：もみじ銀行

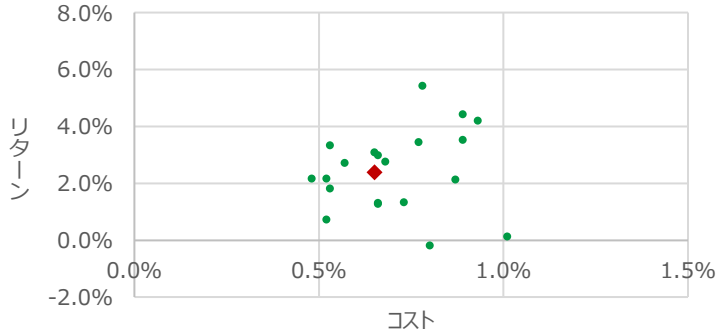


2024年3月末：北九州銀行

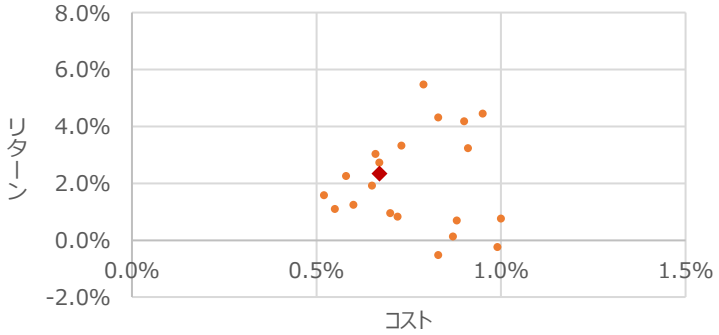


コスト・リターン

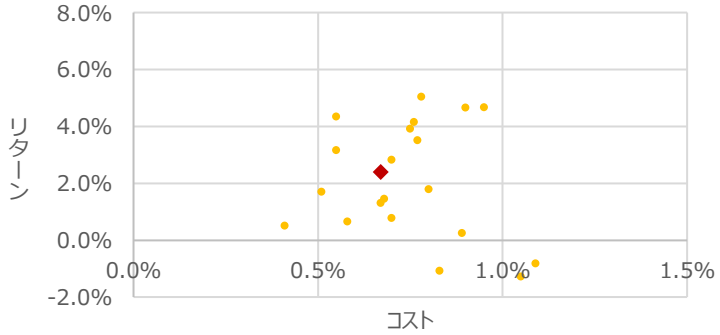
2025年3月末：山口銀行



2025年3月末：もみじ銀行



2025年3月末：北九州銀行



※外貨建保険は保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。
※解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

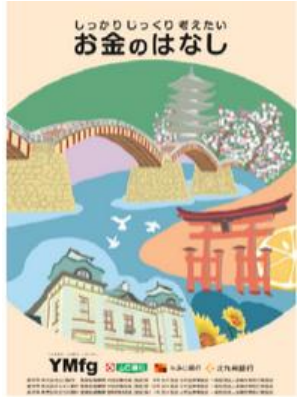
取組状況と独自KPI

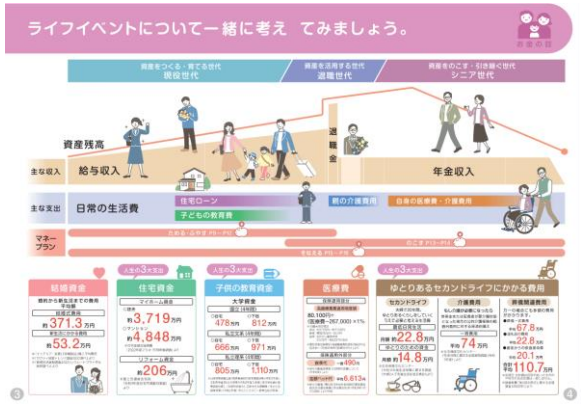
この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

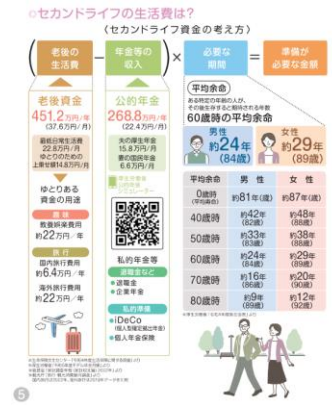
お客さまへのコンサルティング

- グループ3銀行では、情報提供資料およびニーズに応じた全5分野のコンサルティング支援ツール（FPアドバイスシート）等を活用することで、お客さまとの対話等を通じて多様化するお客さまのニーズを把握し、最善の利益の実現に努めてまいります。

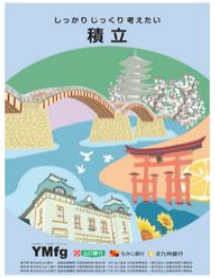
■ 情報提供資料「しっかりじっくり考えたいお金のはなし」







■ FPアドバイスシート（全５分野）

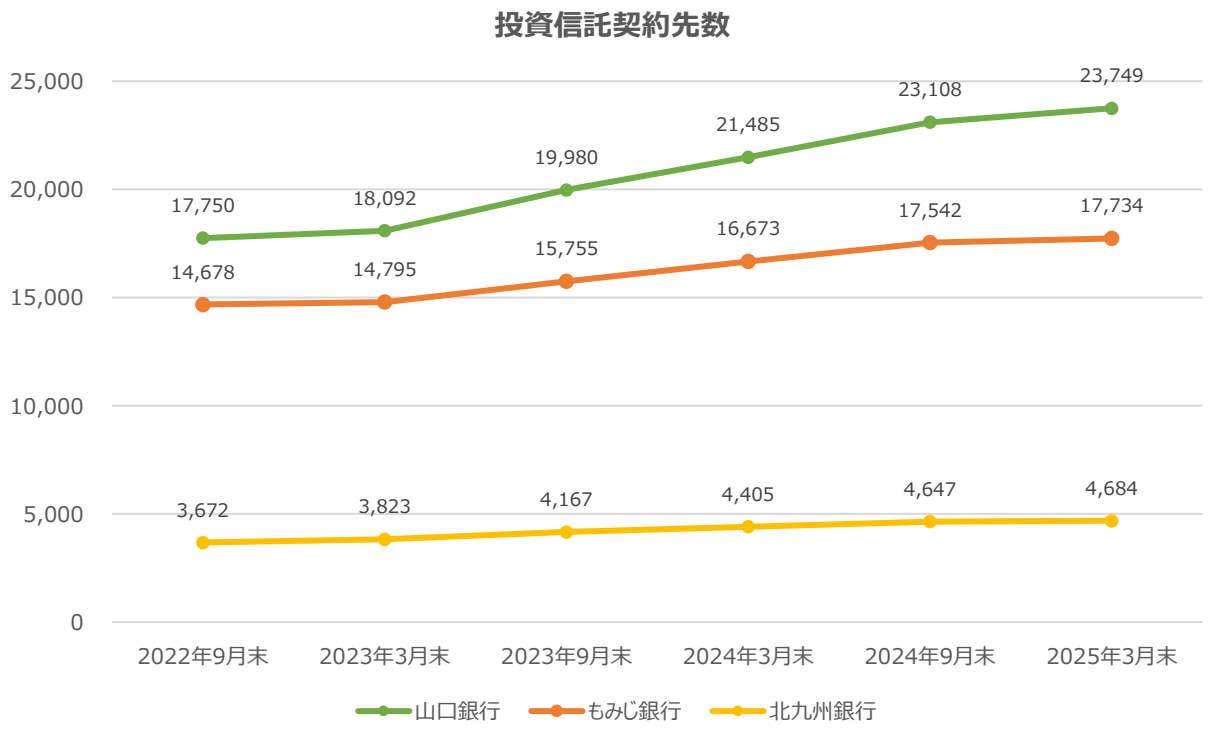


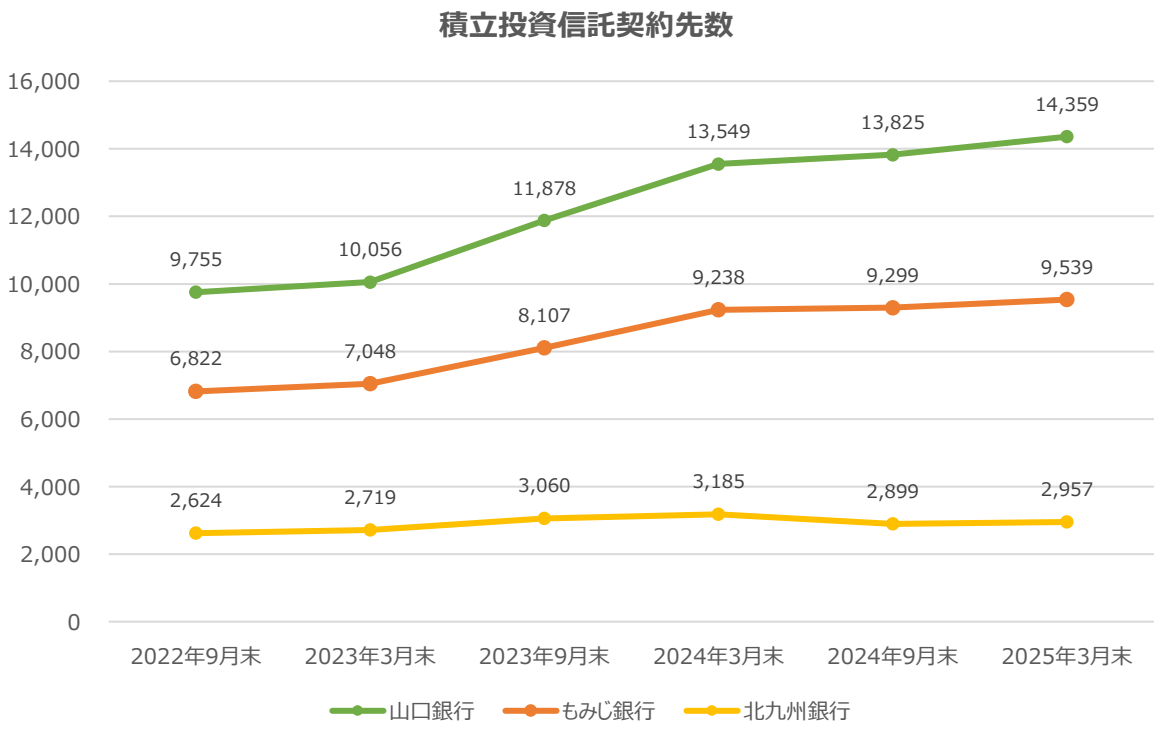
■ チラシ「ライフイベント健康診断」

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

投資信託・積立投信の契約先数

- 前述のコンサルティング支援ツール「FPアドバイスシート（積立）」や情報提供資料「「しっかりじっくり考えたいお金のはなし」では、資産形成の必要性や長期分散投資の重要性をわかりやすく解説しています。
- これらのツール等を活用した長期分散投資の提案により、投資信託契約先数は3行計46,167先（2024年3月末比プラス1.9%）、積立投資信託契約先数は3行計26,855先（同比プラス3.2%）と全体では増加傾向にあります。





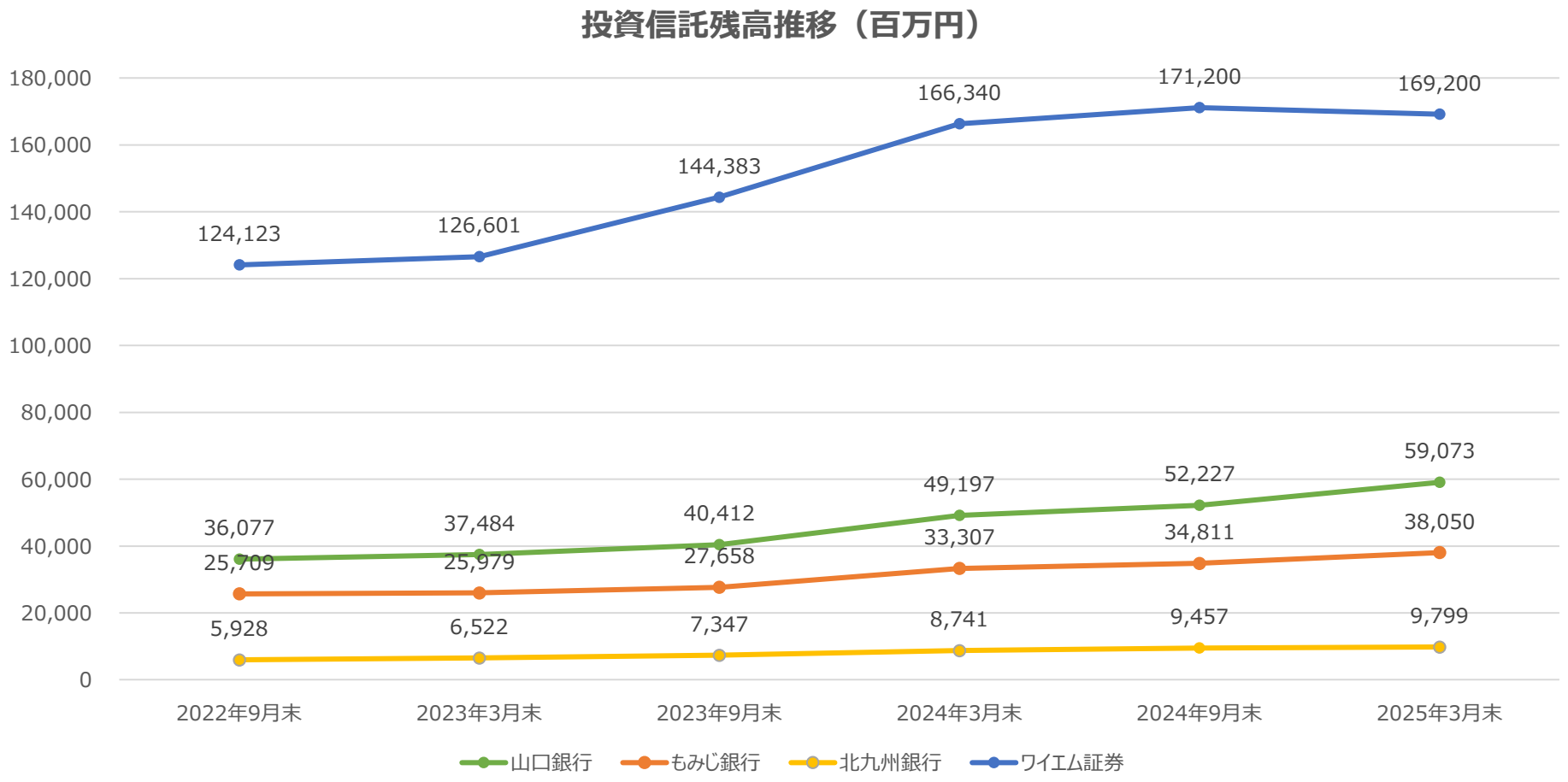
取組状況（１）_お客さま本位の徹底③

独自KPI

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

投資信託残高

- 2024年1月からのNISA制度改正に伴う販売額および資金流入額の増加等により、グループでの投資信託残高は拡大傾向にあります。
- 今後も商品ラインアップの整備やポートフォリオ提案を行うなどの取り組みにより、お客さまの最善の利益につながるよう、お預かりする資産残高の拡大を図ります。



取組状況（２）_お客さま本位の情報提供①

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

重要情報シート等を活用した分かりやすい情報提供

- お客さまが適切に商品・サービスを選択できるよう、2022年4月より、金融庁が活用を推奨する「重要情報シート」をグループ3銀行、ワイエム証券およびYMFGグロースパートナーズにて導入しております。当社グループにおける商品組成会社であるワイエムアセットマネジメントは、重要情報シート作成のための自社ファンド情報を販売会社に提供しております。
- グループ3銀行では、すべてのリスク性金融商品の提案時には、重要情報シート（金融事業者編）と合わせて「附表（横断比較シート）」を使用し、各商品の特徴やリスク・リターン、利回り等の比較、説明を行っています。
- 各種手数料について、契約締結前交付書面・目論見書・重要情報シート等を用い、お客さまにご理解いただけるよう丁寧なご説明に努めてまいります。

■ 重要情報シート

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る重要情報シート

1．当行の基本情報

社名	株式会社山口銀行
登録番号	中国財務局長（登金）第６号
加入協会	日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
当行の概要を記したウェブサイト	https://www.yamaguchibank.co.jp/

2．取扱商品（当行がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです）

預金（投資性なし）	○	預金（投資性あり）	○
国内株式	△（※1）	外国株式	△（※2）
円建債券（※2）	△（※1）	外貨建債券	△（※1）
特殊な債券（仕組債等）	－	投資信託	○
ラップ口座	△（※1）	ETF	△（※1）
REIT	△（※1）	その他の上場商品	△（※1）
保険（投資リスクなし）	○	保険（投資リスクあり）	○
これら以外の商品	iDeCo（個人型確定拠出年金）等も取扱っております。		

（※1）ワイエム証券への金融商品仲介によりご案内しております。
（※2）当行では現在、公共債を取扱っております。

3．商品ラインアップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）

- お客さまー人ひとりのご資産の状況・取引経験・知識・目的・ニーズおよびライフプラン等を踏まえた上で、お客さまの最善の利益に資するコンサルティングを行えるよう、幅広くラインアップを整備しております。
- 運用商品に関しては、お客さまの国際分散投資のお役に立てるよう、多様なカテゴリからバランスよく商品を取り揃えております。また、下記のいずれかに当てはまるものを選定してお勧めいたします。
  ① 過去のリスク対比収益性が優れており、運用会社において厳石な分析体制のもと運用されているもの
  ② 経済動向等を考慮し、中長期の観点から優れた運用成果が期待できるもの
  ③ お客さまのライフプランに応じたお受取りや万一の場合の生活の支えになることが期待されるもの
- 当行においては、預金・保険・投資信託を主に取扱っており、株式等の金融商品につきましては、グループ会社であるワイエム証券への金融商品仲介によりご提供いたします。

4．苦情・相談窓口

当社お客さま相談窓口（受付時間：平日９時～17時30分）		083-223-8075
加入協会共通の相談窓口	全国銀行協会相談室（受付時間：平日９時～17時）	0570-017109（03-5252-3772）
	特定非営利活動法人　証券・金融商品あっせんセンター（受付時間：平日９時～17時）	0120-64-5005
保険商品の相談窓口	一般社団法人生命保険協会　生命保険相談所（受付時間：平日９時～17時）	03-3286-2648
金融庁金融サービス利用者相談室（受付時間：平日10時～17時）		0570-016811（03-5251-6811）

2022年10月現在

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る

重要情報シート（金融事業者編）　ワイエム証券 | YMfg

2022年４月１日

1．当社の基本情報 当社はお客さまに金融商品の販売をする者です

社名	ワイエム証券株式会社
登録番号	中国財務局長（金商）第８号
加入協会	日本証券業協会
当社の概要を記したウェブサイト	https://www.ymsec.co.jp/

2．取扱商品 当社がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです

預金（投資性なし）	－	預金（投資性あり）	－
国内株式	○	外国株式	○
円建債券	○	外貨建債券	○
特殊な債券（仕組債等）	○	投資信託	○
ラップ口座	○	ETF、ETN	○
REIT	○	その他の上場商品	○
保険（投資リスクなし）	－	保険（投資リスクあり）	－
これら以外の商品			

3．商品ラインナップの考え方 商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです

- 当社は、山口フィナンシャルグループの一員として、銀行では取り扱っていない商品・サービスを幅広く提供することにより、お客さまの多様な資産運用ニーズにお応えし、地域のお役に立たいと考えております。
- 運用商品に関しては、運用会社から支払われる手数料やグループ会社から提供される商品に捉われることなく、中長期投資を中心とした商品の運用実績、内外環境や市場動向などを踏まえて、多様な商品群の中からお客さまにふさわしい商品を選定いたします。
- お客さまの投資経験・投資スタイルにあわせて、比較的リスクが小さく商品内容がわかりやすい商品から、有価証券投資のご経験が豊かなお客さまのニーズにお応えする商品まで、幅広く取り揃えております。

4．苦情・相談窓口

当社お客さま相談窓口	083-223-0190（受付時間：平日８時30分～17時30分）
加入協会共通の相談窓口 特定非営利活動法人　証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）	0120-64-5005（受付時間：平日９時～17時）
金融庁金融サービス利用者相談室	0570-016811（03-5251-6811）

■ 重要情報シート附表

資産運用をお考えのお客さまへのご案内　～各商品の特徴を確認・比較してみましょう～　YMfg

	円預金（つかう ためる）	円建債券（ためる ふやす）	外貨預金（ためる ふやす）	外貨建債券（ためる ふやす）	投資信託（ためる ふやす）	一時払生命保険（のこす そなえる）
お客さまのご意向	●元本割れしないもので運用したい ●利子を受け取りながら運用したい ●換金のしやすさを重視したい	●利率・年数を決めて運用したい ●利子を受け取りながら運用したい	●払込通貨で元本割れしないもので運用したい ●払込通貨で利子を受け取りながら運用したい ●換金のしやすさを重視したい	●利率・年数・運用通貨を決めて運用したい ●払込通貨で利子を受け取りながら運用したい	●幅広い資産へ分散投資したい ●運用の専門家が選んだ株や債券などの組み合わせから自分で選択したい ●NISAを活用したい	●保障機能と貯蓄機能の両方を備えたい ●様々な機能を確保したい（現在だけ／介護支払／年金支払／贈与等）※商品によって異なります
しくみ	●日本円を預け入れる預金です ●普通預金や定期預金があります	●購入代金の払込や利子・償還金受け取りがすべて円貨で行われる債券です ●利率・発行価格・償還期限等の発行条件が決まっています ●定期的に利子を受け取ることができ、満期時には元本が償還されることが約束されます （※一部商品はワイエム証券への金融商品仲介によりご案内しております）	●日本円以外の外貨を預け入れる預金です ●普通預金や定期預金があります	●購入代金の払込や利子・償還金受け取りがすべて外貨で行われる債券です ●利率・発行価格・償還期限等の発行条件が決まっています ●定期的に利子を受け取ることができ、満期時には払込通貨で元本が償還されることが約束されます （※ワイエム証券への金融商品仲介によりご案内しております）	●お客さまから お預かりした資金を１つにまとめ、運用の専門家である運用会社が国内外の株式や債券などに投資（運用）を行い、その運用成果をお客さまに分配する金融商品です	●保障機能と貯蓄機能を兼ね備えた商品であり、ライフプランや家族構成に合わせた様々な機能を確保できます [円建保険] 払い込んだ保険料を円貨で運用します [外貨建保険] 払い込んだ保険料を外貨で運用します
リスク	信用リスク	金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク	信用リスク、為替変動リスク	金利変動リスク、信用リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、流動性リスク	金利変動リスク、信用リスク、為替変動リスク、信用変動リスク、カントリーリスク、流動性リスク 商品により異なります	金利変動リスク、信用リスク、為替変動リスク、信用変動リスク、カントリーリスク、流動性リスク 商品により異なります
リターン	✕ 低金利	△ 預金よりは高いが低水準	△ 通貨及び金利により異なります	△～○ 通貨、為替及び発行体により異なります	△～◎ 商品により異なります	［円　建］△［外貨建］○ 商品性により異なります
（ご参考）	普通預金金利：0.200% 2025年６月２日現在	個人向け国債10年：1.00% 2025年６月５日現在	外貨普通預金金利：(米)0.200% (豪)0.200% 2025年6月4日現在	米国債10年：4.422% 豪国債10年：4.258% 2025年6月3日（終値）	担当者にお問い合わせください	担当者にお問い合わせください
費用 一般的な費用のイメージ	コスト低				（運用方針に応じて）コスト低～高	（短期解約した場合）コスト高
費用 購入・契約時	－	－	為替手数料	為替手数料	購入手数料 不要な商品もあります	契約時費用 ［外貨建］為替手数料 商品により異なります
費用 保有・契約期間中	－	－	－	－	信託報酬	保険関係費用 商品により異なります
費用 換金・解約時	－	－	為替手数料	為替手数料	信託財産留保額 不要な商品もあります	解約控除 ［外貨建］為替手数料 商品により異なります

上記資料は、情報提供を目的とした一般的な概要を説明したものであり、個別の商品説明を行うものではございません。裏面の留意事項についてもあわせてご確認ください。

2024年10月・制

※グループ3銀行・ワイエム証券・保険ひろば・YMFGグロースパートナーズでは商品組成は行っておりません

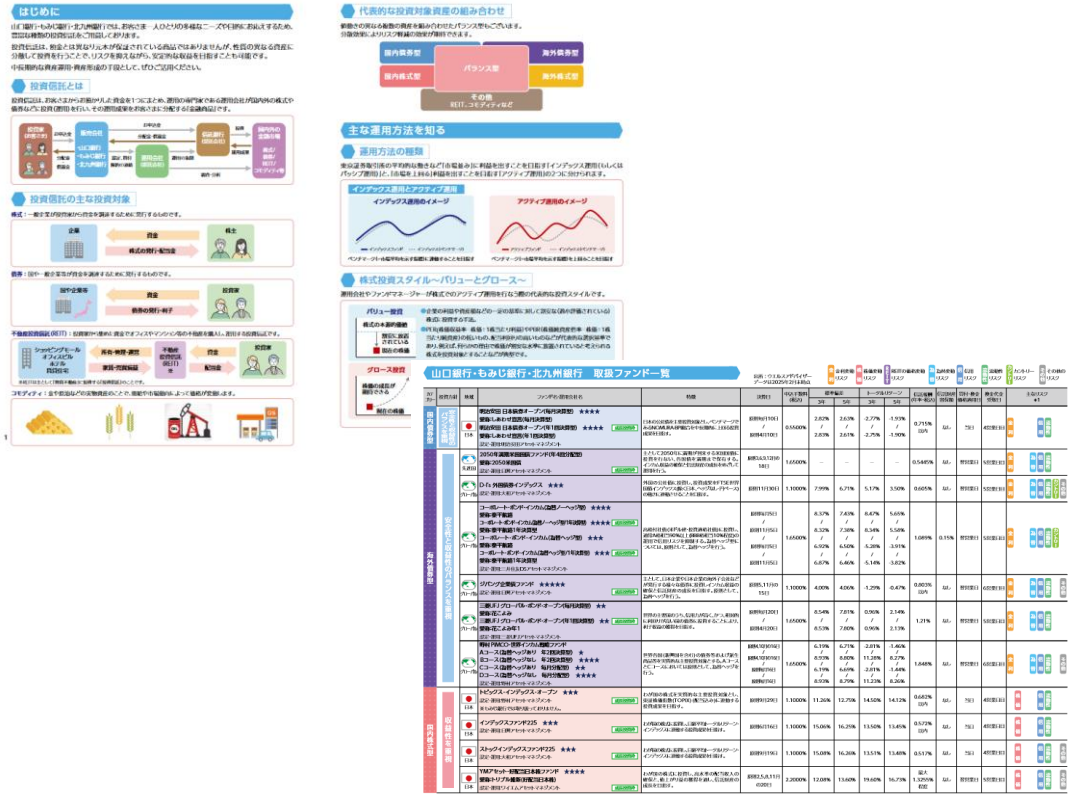
取組状況（２）_お客さま本位の情報提供②

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

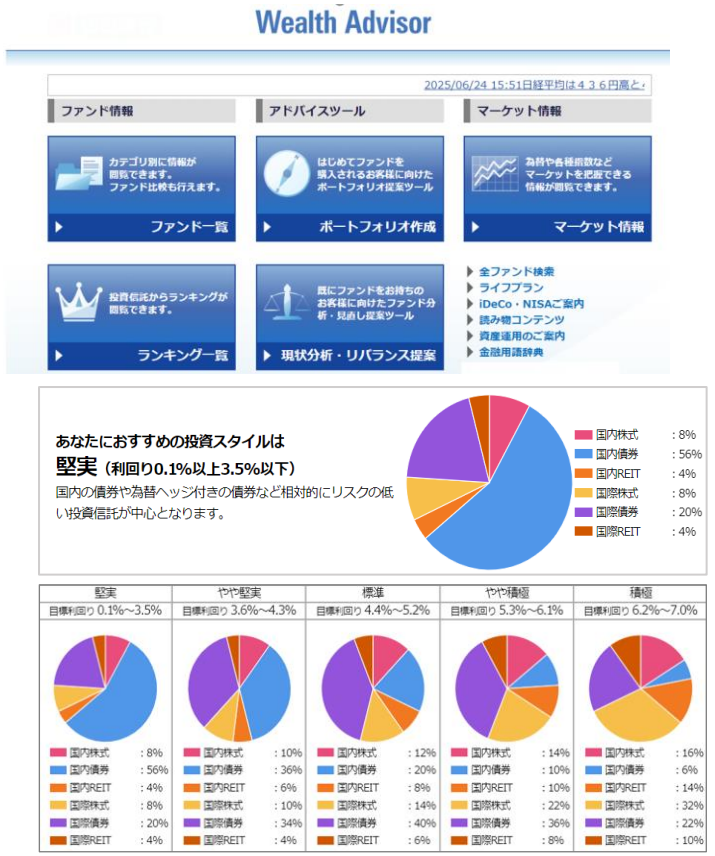
お客さまにわかりやすいツールの充実

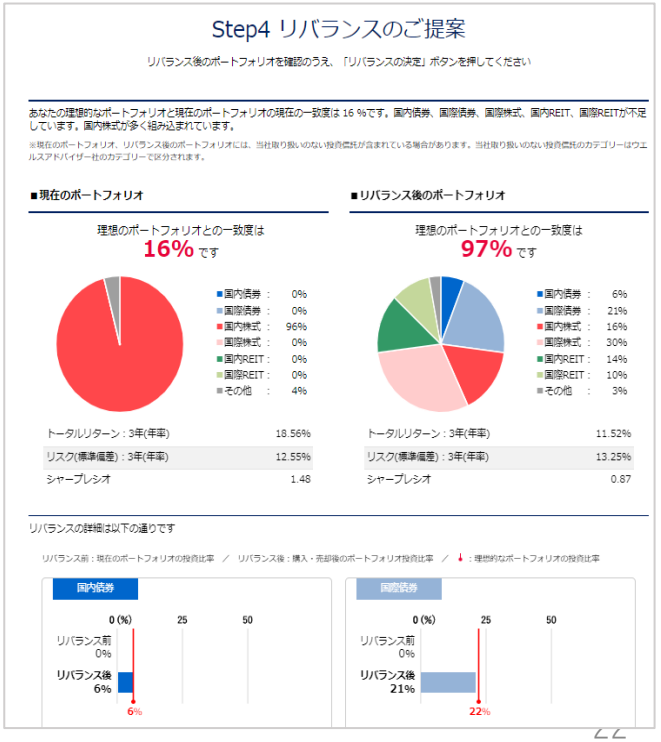
- グループ3銀行においては、2024年9月に情報提供資料「投資信託ラインアップ」を、投資信託に関する情報提供のために活用しています。
- グループ3銀行及びワイエム証券においては、ウエルスアドバイザー社が提供するポートフォリオ提案ツール「Wealth Advisor」を活用しています。
- ツールを活用のうえ、お客さまの保有資産の見える化や投資目的、リスク許容度等に応じたポートフォリオ作成、リバランス提案を行ってまいります。

■ 情報提供資料「投資信託ラインアップ」



■ ポートフォリオ提案ツール「WealthAdvisor」





取組状況（２）_お客さま本位の情報提供③

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

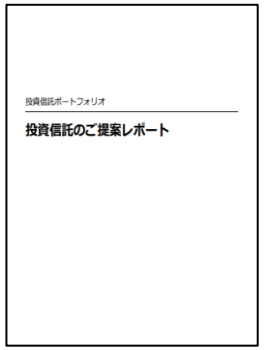
アフターフォロー実施状況

- 当社グループでは、投資信託や保険商品をご契約のお客さまのうち、一定の条件に該当する方に対し、担当者によるご面談・ご連絡や書面等を通じて、運用状況などの適時適切な情報提供、アフターフォローを実施しております。
- 相場急変によりファンドの基準価額が大幅に下落した際には、社内ルールに則ったフォローアップを実施しています。担当者向けにはマーケット解説動画の配信等によるフォローも行っております。

■ お客さま向けDM

■ グループ3銀行ホームページー「基準価額下落のお知らせ」

■ ポートフォリオ提案ツール「WealthAdvisor」ー「現状分析・リバランス提案」



金融経済教育への取組み

- 地域の金融リテラシー向上に資するため、学校や大学等での出張授業やお取引先企業での職域セミナー等を実施しております。
- 2024年度は、山口銀行として初めて「金融経済教育推進機構（J-FLEC）」との共催セミナーを実施しました。

■ 山口銀行×J-FLEC共済セミナー

■ 出張授業の風景と受講生徒様の感想

※写真の掲載許可をいただいた学校についてのみ掲載しています。

ご高齢のお客さまへの対応

- 日本証券業協会が作成したガイドライン「高齢顧客に対する勧誘による販売について」に基づき、ご高齢のお客さまに対する募集については、より丁寧な意思確認等を行っており、80歳以上のお客さまについて「継続的な状況把握」（健康状態や理解力、投資方針の変化等の確認）を実施しております。
- ご高齢のお客さまに対して金融商品を提案・販売する際は、複数回の面談やご家族のご理解を深めてまいります。

当社グループ銀行における主な対応（2025年3月末現在）

① 高齢者を70歳以上とし、80歳以上のお客さまに対してはより慎重な対応を行っております。

② 70歳以上80歳未満のお客さま

I. 「勧誘可能な商品」の募集を行う場合は、可能な限りご家族に同席いただくことで、より慎重な確認を行っております。
また、注文の前後で役席者がお客さまに確認の電話を行い、申込内容をご理解いただいていることを確認しております。

II. 「勧誘留意商品（勧誘可能な商品以外の商品：※1）」の募集を行う場合は、上記に加え、内部管理責任者による事前承認の前に面談等によって、役席者が適合性を確認しております。

③ 80歳以上のお客さま

I. 上記②に加え、原則としてご家族に同席いただくほか、勧誘留意商品の募集に関しては初回説明・勧誘の当日に募集・購入申込を受けることは原則不可とすることで、より慎重な意思確認を行っております。

II. 勧誘留意商品に関しては約定後、時間をおいて一週間以内に約定結果を通知のうえ、再度申込内容の理解度・取引を行ったことへの理解度を確認しております。

III. 毎年3月末時点で投資信託を3百万円以上保有する80歳以上のお客さまに対し、年1回以上、電話または面談により役席が継続的な状況把握を行い、健康状態や理解力、投資方針の変化等の確認を実施しております。

※1:勧誘留意商品・・・下記「勧誘可能な商品」として定めている商品以外の商品
「勧誘可能な商品」
①比較的変動が小さく、仕組みが複雑でなく、換金性が高い商品
・国債等
・公社債を中心に投資し安定的な運用を目指す投資信託
・米ドル、ユーロ、豪ドル建で上記に相当する投資信託等
②周知性の高い商品、時々刻々価格が変動する商品
・日経２２５やＴＯＰＩＸに連動する投資信託等　（出所：日本証券業協会）

取組状況（２）_お客さま本位の情報提供⑤

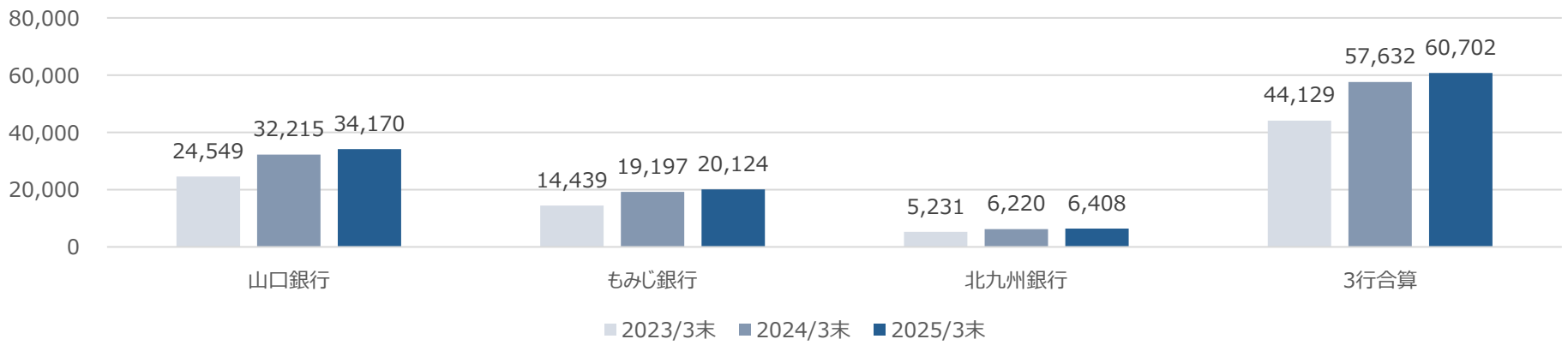
独自KPI

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

NISA制度の活用を通じた資産形成支援

- NISA制度について、ホームページやリーフレットを活用した、お客さまに分かりやすい情報の提供に取り組んでおります。
- 2024年度はグループ3銀行において、NISA関連のキャンペーンの実施（計3回）や、店頭での提案、Eメール、DM等を通じたPR活動も行いました。
- 結果として、2025年3月末のNISA口座数は3銀行で60,702口座となり、NISAの取組みを強化し始めた2023年3月末と比較して37.3%増加いたしました。
- 引き続き、地域金融機関としてNISA制度の活用を促進することにより、地域の皆様の資産形成を支援してまいります。

NISA口座開設数



■ホームページ

■NISAキャンペーンリーフレット

■NISAノベルティ（ティッシュ）

■WEBで投資信託・NISA口座開設

取組状況（３）_お客さま本位のラインアップ①

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

投資信託に関する管理プロセス

- プロダクトガバナンス態勢を踏まえ、多様なお客さまの目的・資産状況・リスク許容度等に応じた様々なニーズに応えるため、商品・サービスを幅広く取り揃えてまいります。
- グループ3銀行、ワイエム証券におけるファンドの選定においては、不足するカテゴリを中心に、日本国内の全公募ファンドにおける同一カテゴリとの比較や、外部評価、販売体制等、定性面・定量面両面から分析を行います。
- ワイエムアセットマネジメントにおいては、運用戦略の方向決定、パフォーマンス評価、分析等の一連のサイクルを通じて、プロダクトガバナンス態勢の実効性を確保してまいります。

銀行・証券

導入前	• ポートフォリオ構築にあたって、取扱いファンドの中で主に不足するカテゴリから検討 • 運用実績（主に日本国内の全公募ファンドにおける同一カテゴリのシャープレシオとの比較）、外部評価、販売体制（リサーチ力や運用体制、販売会社への支援等）等の定性面、定量面両面から各条件を満たすものを取り扱う
導入後	• 運用実績、外部評価等、主に定量面の観点で評価を実施
	• プロダクトガバナンス態勢の執行状況を検証

ワイエムアセットマネジメント

設定前	**計画**	• 運用戦略の方法を協議・決定
設定後	**実行**	• 運用計画に基づく運用を行なうとともに、運用状況を管理 • 運用部長はファンドの運用が運用計画に沿って行われていることを確認
	検証・改善	• プロダクトガバナンス態勢の執行状況を検証
		• 運用のパフォーマンスの評価・分析、法令等にかかるモニタリングを実施 • 運用リスクにかかる管理状況を検証

- 製販全体でお客さまの最善の利益の実現を目指すため、2024年度は情報連携の対象ファンドの抽出、システム対応等データ連携の準備を行いました。
- グループ各社では、お客さまの満足度を把握するために、継続的にお客さまアンケートを実施しています。お客さまの声を起点とした商品・サービス改善の取組みを行ってまいります。

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

商品ラインアップ（投資信託）

- 多様なお客さまの目的・資産状況・リスク許容度等に応じた様々なニーズにお応えするため、前述の管理プロセスを踏まえた投資信託ラインアップ整備を行っております。
- 2024年度にグループ3銀行においては、不足するカテゴリおよびNISA対象商品を中心に8商品を新規導入、1商品を販売停止、ワイエム証券においては5商品を新規導入するなど、商品ラインアップの見直し・充実に努めております。

事業体別・カテゴリ別ラインアップ（2025年3月末時点）※1

	山口銀行				もみじ銀行				北九州銀行				ワイエム証券			
	取扱商品		NISA対象 ※2		取扱商品		NISA対象※2		取扱商品		NISA対象※2		取扱商品		NISA対象※2	
	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率
国内株式	15	13.9%	14	93.3%	14	13.1%	13	92.9%	15	13.9%	14	93.3%	32	11.8%	22	68.8%
海外株式	38	35.2%	31	81.6%	38	35.5%	31	81.6%	38	35.2%	31	81.6%	108	39.7%	86	79.6%
国内債券	2	1.9%	1	50.0%	2	1.9%	1	50.0%	2	1.9%	1	50.0%	6	2.2%	3	50.0%
海外債券	13	12.0%	5	38.5%	13	12.1%	5	38.5%	13	12.0%	5	38.5%	56	20.6%	9	16.1%
REIT	13	12.0%	6	46.2%	13	12.1%	6	46.2%	13	12.0%	6	46.2%	20	7.4%	6	30.0%
バランス	25	23.1%	18	72.0%	25	23.4%	18	72.0%	25	23.1%	18	72.0%	43	15.8%	27	62.8%
その他	2	1.9%	2	100.0%	2	1.9%	2	100.0%	2	1.9%	2	100.0%	7	2.6%	4	57.1%
合計	108	100.0%	77	71.3%	107	100.0%	76	71.0%	108	100.0%	77	71.3%	272	100.0%	157	57.7%

※1インターネット専用商品除く
※2カテゴリ毎の取扱商品のうちNISA対象商品の比率

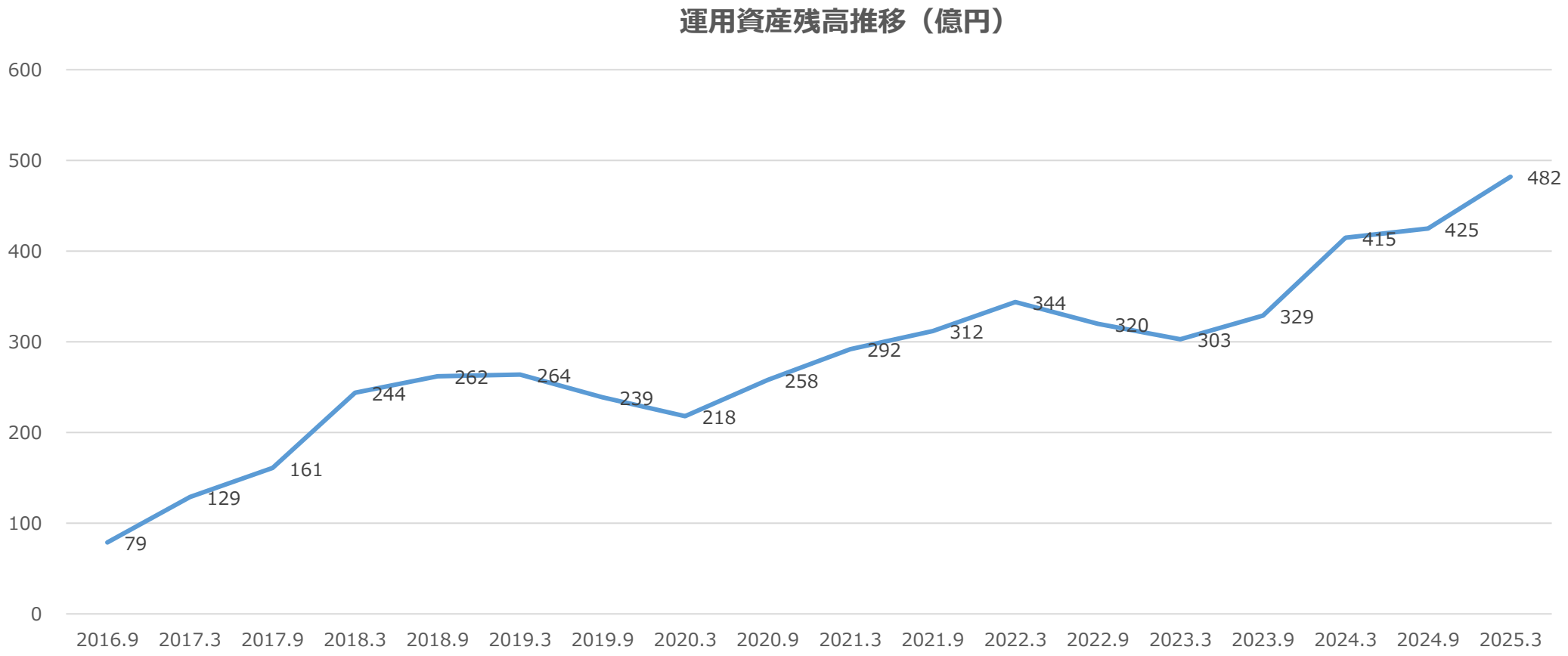
取組状況（３）_お客さま本位のラインアップ③

独自KPI

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

グループ会社（ワイエムアセットマネジメント）の運用資産残高推移

- 2024年度は、2024年1月からのNISA制度改正に伴う投資家層の拡大による資金流入額の増加等により、運用資産残高は増加傾向にあります。
- 2025年度以降は、販売会社との情報連携も踏まえ、お客さまの資産形成等に貢献する商品、サービスの開発・販売・推奨等を行ってまいります。



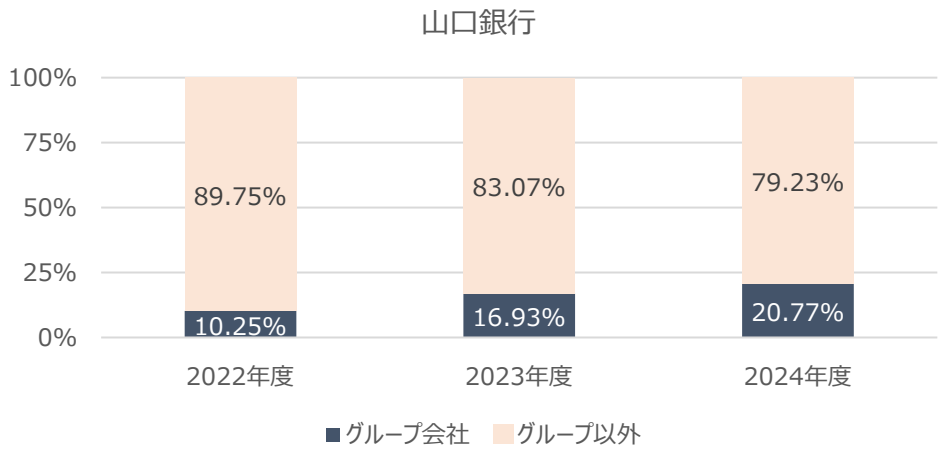
取組状況（３）_お客さま本位のラインアップ④

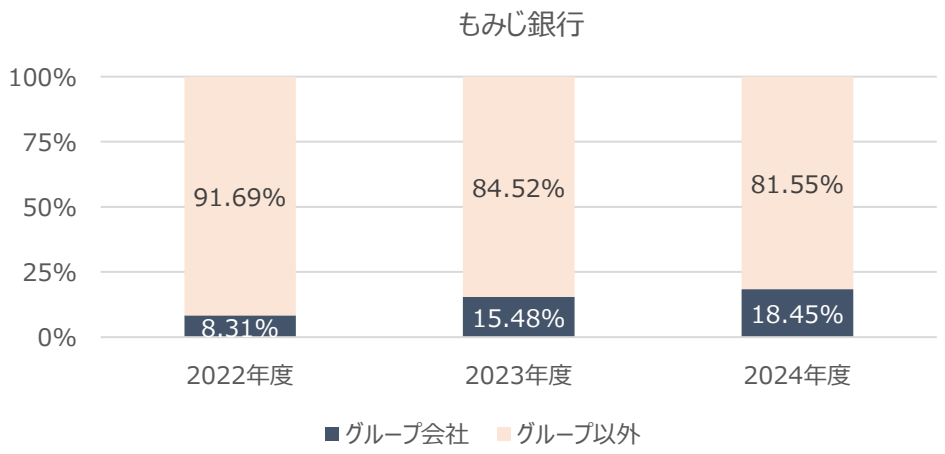
独自KPI

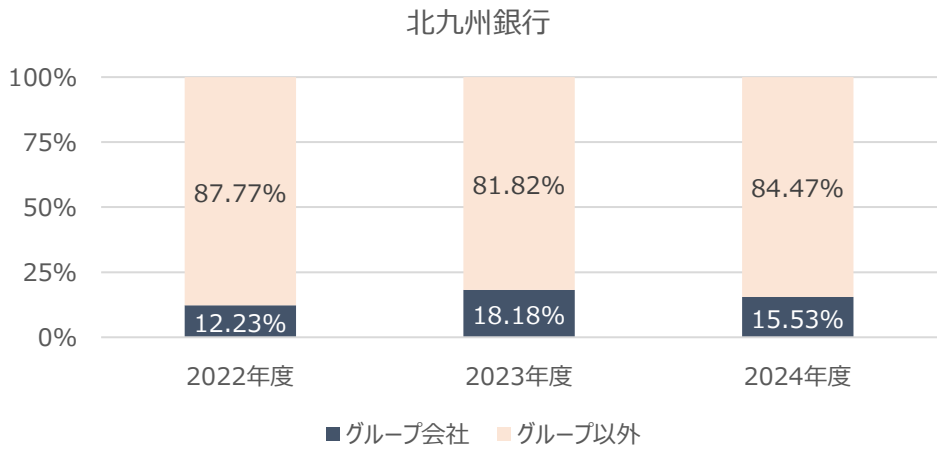
この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

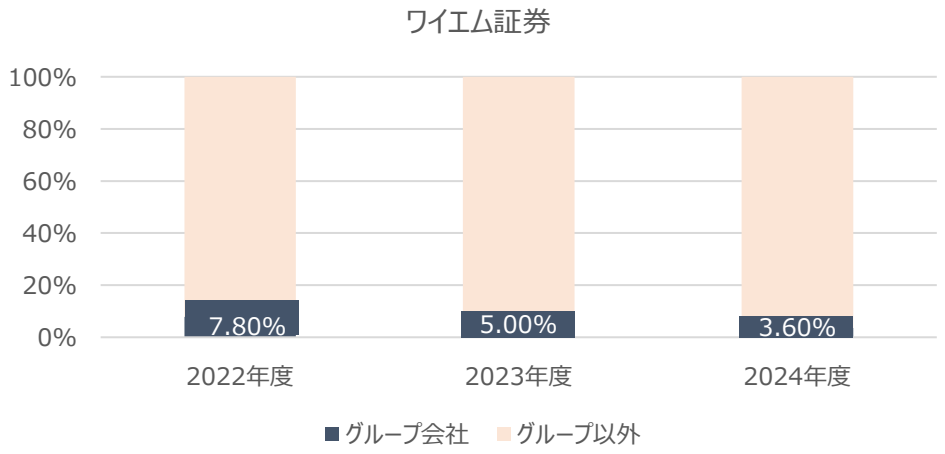
グループ会社（ワイエムアセットマネジメント）の投資信託販売比率

- グループ会社（ワイエムアセットマネジメント）の投資信託販売比率は全体の3割以下となっています。
- 今後も、グループ会社の商品に偏ることなく、お客さまの目的、ニーズ等に応じた商品提案を行ってまいります。





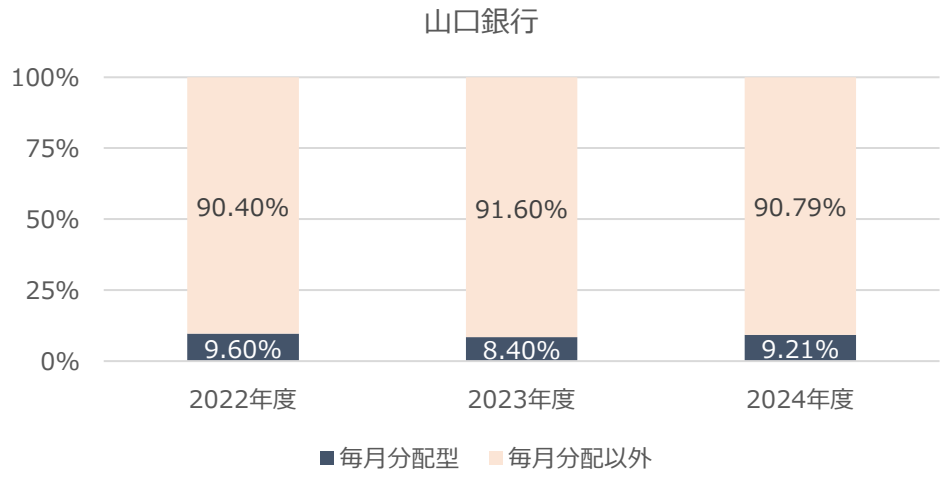


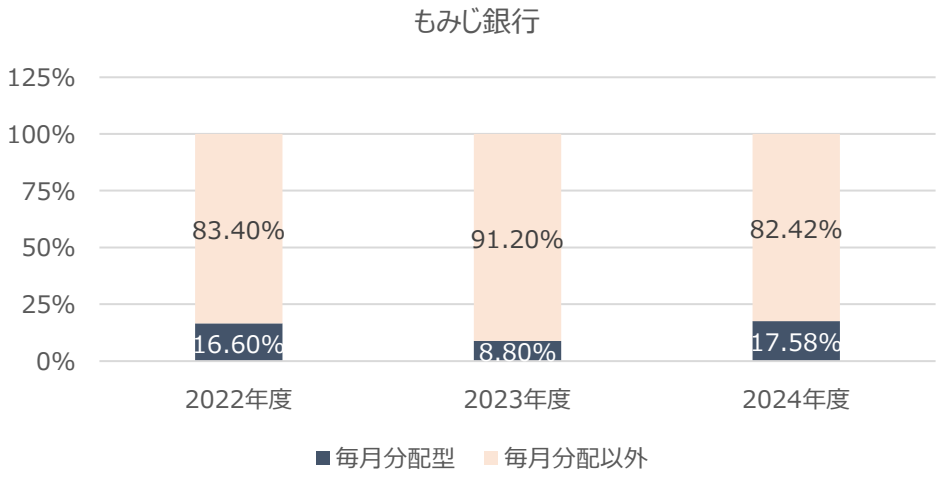


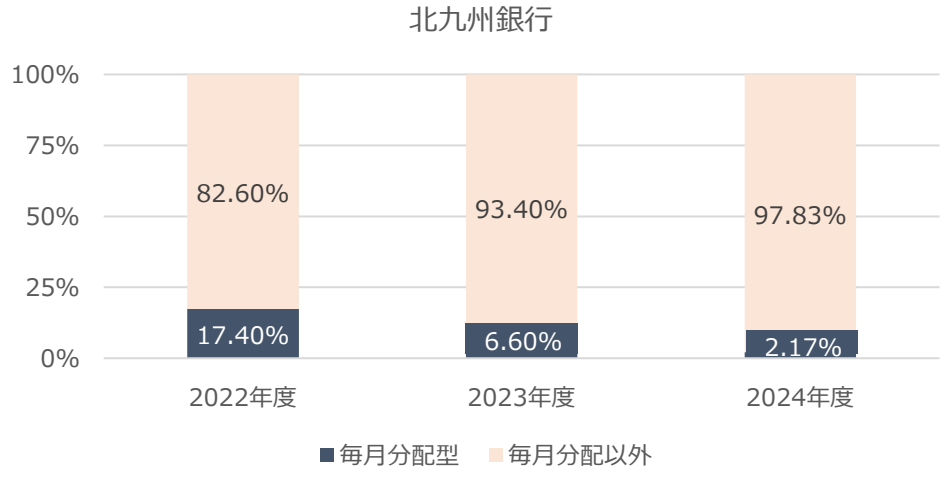
この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

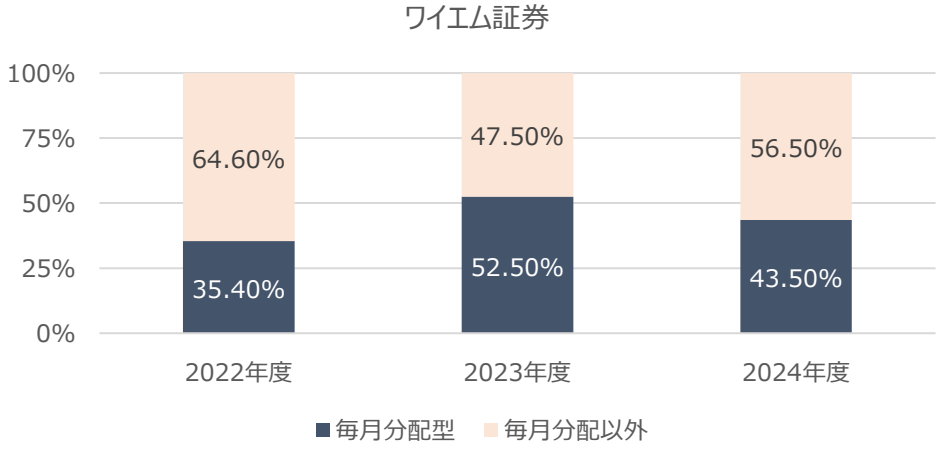
毎月分配型投資信託の販売比率

- 中長期的な資産成長のためにお客さまの目的やニーズをお聞きしたうえで、分配金の受け取りを希望されないお客さまに対しては投資効率が低下しないよう、毎月分配型以外の投資信託を推奨しております。
- 分配金の受け取りを希望されるお客さまに対しては、分配金支払の仕組み等を十分にご説明しご理解いただいたうえで、ご購入いただくよう努めてまいります。









この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

商品ラインアップ（一時払保険・平準払保険）

- お客さまのニーズにお応えできるよう、ラインアップの充実に努めております。
- 商品ラインアップについては、お客さまのニーズ、、同一カテゴリ類似商品比較等を踏まえて随時見直すとともに、各種資料（パンフレットや契約締結前交付書面等）を用いたわかりやすい情報提供に努めてまいります。

事業体別・カテゴリ別ラインアップ（平準払保険、2025年3月末時点）

	山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行		保険ひろば	
	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率
医療	9	23.1%	9	23.1%	9	23.1%	9	19.1%
ガン	5	12.8%	5	12.8%	5	12.8%	8	17.0%
収入保障 就業不能	2	5.1%	2	5.1%	2	5.1%	8	17.0%
年金	4	10.3%	4	10.3%	4	10.3%	4	8.5%
終身	3	7.7%	3	7.7%	3	7.7%	3	6.4%
変額	1	2.6%	1	2.6%	1	2.6%	10	21.3%
定期	14	35.9%	14	35.9%	14	35.9%	3	6.4%
学資	1	2.6%	1	2.6%	1	2.6%	2	4.3%
合計	39	100.0%	39	100.0%	39	100.0%	47	100.0%

事業体別・カテゴリ別ラインアップ（一時払保険、2025年3月末時点）

		山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行		保険ひろば	
		商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率
円建	変額年金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	定額年金	5	14.3%	5	14.3%	5	14.3%	0	0.0%
	終身	11	31.4%	11	31.4%	11	31.4%	1	20.0%
	合計	16	45.7%	16	45.7%	16	45.7%	1	20.0%
外貨建	変額年金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	定額年金	5	14.3%	5	14.3%	5	14.3%	0	0.0%
	終身	14	40.0%	14	40.0%	14	40.0%	4	80.0%
	合計	19	54.3%	19	54.3%	19	54.3%	4	80.0%
合計		35	100.0%	35	100.0%	35	100.0%	5	100.0%

※保険ひろばに関しては、推奨商品数を記載しております。

利益相反管理方針

- 当社グループにおける利益相反管理に関する対応方針として、内部規定である「利益相反管理規定」を公表しております。

1. **管理対象会社**
   グループ内銀行、グループ内銀行を所属銀行とする銀行代理業者および銀行関連業務・金融商品関連業務を行う当社グループ会社・関連会社とします。（以下、対象グループ会社）

2. **組織・管理態勢**
   山口フィナンシャルグループのコンプライアンス統括部を統括部署とし、統括部署の担当役員が利益相反管理統括責任者として、対象グループ会社の利益相反取引にかかる管理態勢を統括します。

3. **利益相反取引の定義および取引類型**
   利益相反取引とは、対象グループ会社とお客さまとの取引にあたりお客さまの利益を不当に害する取引、および対象グループ会社と複数のお客さまとの取引にあたりいずれかのお客さまの利益を不当に害する取引をいいます。お客さまの利益を不当に害する取引の類型は、次のとおりです。

取引類型	対象グループ会社とお客さま	お客さまと他のお客さま
利害対立型	対象グループ会社とお客さまの利害が対立する取引	対象グループ会社のお客さま同士の利害が対立する取引
競合取引型	対象グループ会社とお客さまが競合する取引	対象グループ会社のお客さま同士が競合する取引
情報利用型	対象グループ会社がお客さまとの関係を通じて取得したお客さまの情報を利用して、対象グループ会社が不当に利益を得る取引	対象グループ会社がお客さまとの関係を通じて取得したお客さまの情報を利用して、他のお客さまが不当に利益を得る取引

4. **管理プロセス**
   当社グループは、利益相反取引の未然防止を図るため、以下のとおり、適切な管理を実施します。
   （１）報告
   対象グループ会社は、各社で発生したお客さまとの取引において利益相反のおそれがあると判断した場合は、遅滞なく統括部署に報告します。
   （２）特定
   統括部署は、報告を受けた取引について、お客さまの利益を不当に害するか否かの観点から実質的に検討し、管理する必要のある取引を特定します。
   （３）管理方法
   統括部署は、想定される利益相反の内容に応じて、次の管理方法を選定します。
   １．お客さまとの取引を行う業務部門の情報遮断（情報共有先の制限）
   ２．お客さまとの取引の条件または方法の変更
   ３．お客さまとの取引の中止
   ４．利益相反のおそれがあることのお客さまへの開示（お客さまの同意を必要とする場合があります）
   ５．その他お客さまの保護を適切に確保する方法
   （４）記録・保存
   統括部署は、利益相反管理のプロセス（報告、特定および管理方法等）を適切に記録・保存します。

5. **教育・指導および改善活動**
   当社グループは、役職員に対して利益相反管理にかかる指導・研修等を継続的に実施し、利益相反管理にかかる意識の向上に努めます。

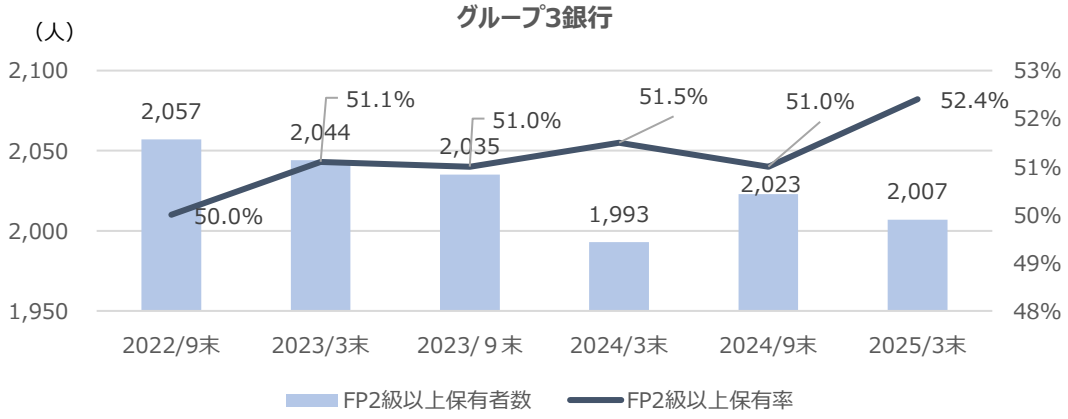
取組状況（５）_企業文化の定着

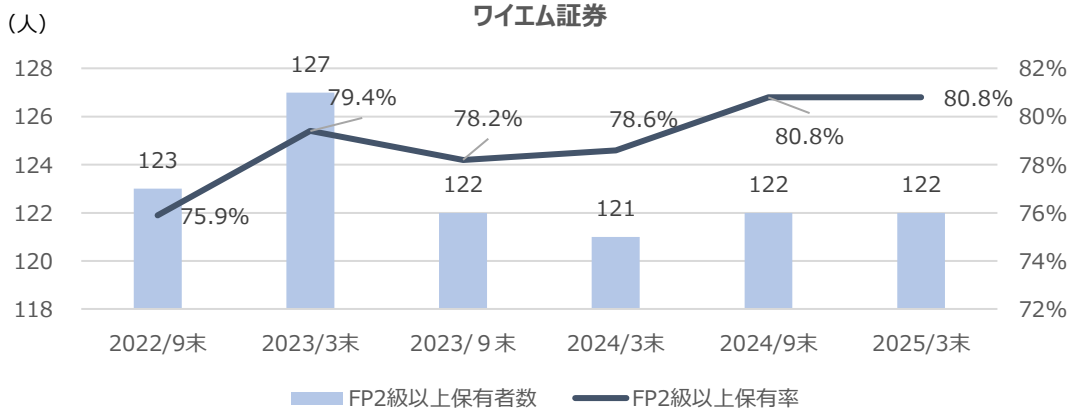
独自KPI

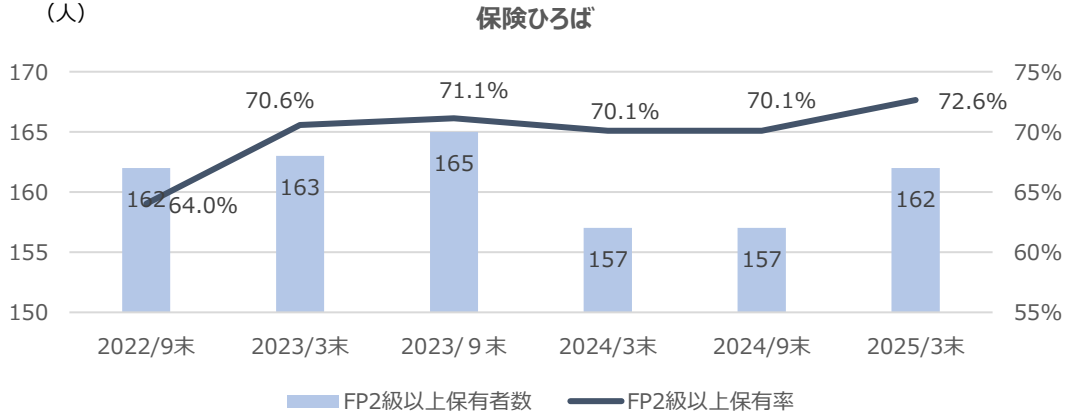
この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

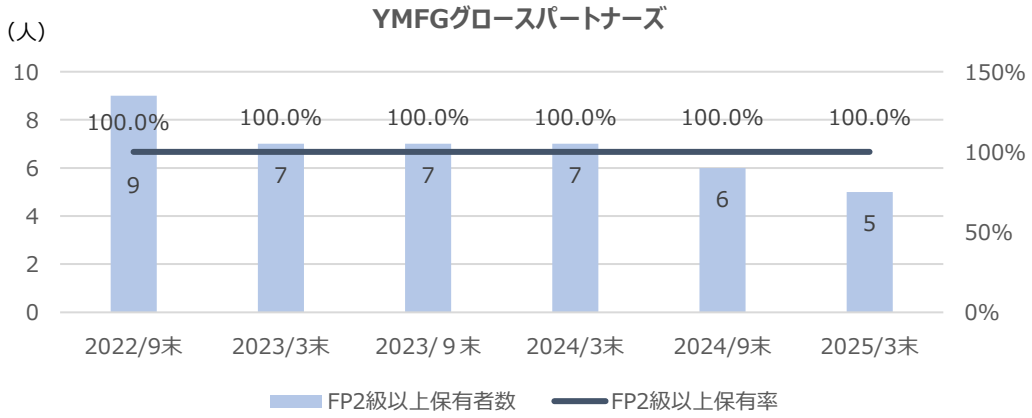
人財育成の取組（FP資格取得）

- 専門的な情報を分かりやすくお客さまに提供できる人財を育成するため、FP１級およびFP２級の資格取得を一部昇格要件に加えるなど、取得を奨励しております。
- 2025年3月末時点のFP2級以上保有率は、グループ3銀行、ワイエム証券、保険ひろばにおいて、前年同月比増加しております。
- 社員の自己啓発につながる各種研修や勉強会、休日セミナーを実施するとともに、自己啓発ツールの活用促進により、保有者の更なる増加を図ってまいります。









※YMFGグロースパートナーズについては、保有率を上限100%で記載